



**LEICA SOFORT 2**  
取扱説明書



## はじめに

お客様へ

このたびはライカ Sofort 2をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、末永くご愛用ください。  
本製品について詳しくは、<https://leica-camera.com>をご覧ください。

ライカカメラジャパン株式会社

## 付属品

カメラをご使用になる前に、下記の付属品がすべてそろっていることをご確認ください。

- ライカ Sofort 2
- USBケーブル (BO38A34001)
- キャリングストラップ
- クイックスタートガイド
- レンズキャップ

\*本書で説明する製品のデザインや仕様などは予告なく変更される場合があります。

## スペアアクセサリ/アクセサリ

スペアアクセサリ、アクセサリに関して、詳しくはライカのホームページをご覧ください。

<https://leica-camera.com/ja-JP/photography/accessories>

本書またはライカで指定したアクセサリ以外は使用しないでください。指定された以外のアクセサリを使用すると、故障や事故の原因となります。

本製品使用時の事故や怪我、または故障を防ぎ、各種リスクを軽減するため、本製品をお使いになる前に、「法律に関する事項」、「注意事項」、「本製品の取り扱いについて」を必ずお読みください。

### 本文中の説明について

#### メモ

補足的な説明や情報を記載しています。

#### 注意

この内容を守らず誤った取り扱いをすると、カメラ本体やアクセサリの故障、画像データ破損のおそれがあります。

#### 警告

この内容を守らず誤った取り扱いをすると、重傷を負うおそれがあります。

## 法律に関する事項

### 著作権について

- カメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。本製品に付属するすべてのソフトウェアの著作権その他一切の権利は、正当な権限を有する第三者に帰属します。
- SD、SDHC、SDXC、microSDHCのマークおよびロゴは、SD-3C、LLCの登録商標です。

## 本書について

### 著作権

著作権はライカカメラAGが保有しています。

本書内のすべてのテキスト・画像・グラフィックは知的財産の保護に関する著作権法およびその他の法律の対象となります。ライカカメラAGの許可なく取扱説明書の内容の一部または全部を複製、改変、商業的に使用または転載することを禁じます。

### テクニカルデータ

製品およびサービスの変更が行われることがあります。ライカカメラAGは必要な場合に限り、デザイン・形状・カラー等の変更、付属品またはサービス内容の変更を行う権利を留保します。ライカカメラAGは、テキスト内容等に間違いがある場合など、その内容を変更する権利を留保します。画像には、付属品に含まれていないアクセサリや、サービス範囲外のアイテム等が含まれている場合があります。国によっては使用できない機能やサービスについて記載されている場合があります。

### 商標・ロゴマーク

本書で使用されている商標・ロゴマークは、登録商標です。ライカカメラAGの事前承諾なしに、これらの商標・ロゴマークを使用することを禁止します。

### ライセンス

ライカカメラAGは常によりよいものを提供したいと考えています。本書はライカカメラAGの著作権、特許権、商標権等の知的財産権に基づくいかなる権利をも許諾もしくは付与するものではありません。皆様のご理解をお願いいたします。



## カメラ情報について

本製品の製造日は、保証書または製品パッケージに貼付しています。  
表示形式：年/月/日

## CEマーク

本製品に貼付されているCEマークは、EC指令に適合していることを示しています。

### 日本語

#### 適合宣言書 (DoC)

「Leica Camera AG」は、本製品が2014/53/EUの基本要件およびその他の関連規定に適合していることをここに示します。

お客様は、当社の無線機器製品へのオリジナル適合宣言書を当社のDoCサーバーからダウンロードすることができます。

<https://cert.leica-camera.com>

ご不明な点がございましたら、Leica Camera AG (Am Leitz-Park 5, 35578 Wetzlar, Germany) までお問い合わせください。

#### 使用可能な周波数帯/使用上の制限事項：

テクニカルデータをご参照ください。

## 電気・電子機器の廃棄について

(EU諸国および分別廃棄を実施するその他のヨーロッパ諸国のみ)



この装置には電気・電子部品が含まれているため、一般家庭廃棄物として廃棄することはできません。お住まいの自治体のリサイクル協力店にご相談ください。

回収は無料となっています。電池や充電電池を使用する装置を廃棄する場合は、電池や充電電池を取り外してから回収場所にお持ちいただくか、必要に応じてお住まいの自治体の規則に従って廃棄してください。

廃棄についての詳しい情報は、お住まいの自治体、お近くの廃棄物回収業者、またはご購入店にお問い合わせください。

## WLAN/BLUETOOTH®の使用に関する注意事項

- ワイヤレスデバイスより信頼性の高いセキュリティを要求されるデバイスまたはコンピューターシステムを使用する場合、有害なアクセスに対するセキュリティや処置を万全にしてから、接続してください。
- ワイヤレスLAN機器としての用途以外でカメラを使用した場合、それによって生じたいかなる損害に対してもLeica Camera AGは一切責任を負いません。
- ワイヤレスLAN機能の使用は本製品が販売されている国での使用を想定しています。販売されていない、または販売を禁じられている国で使用した場合、本製品が当該国の電波関連規制等に違反するおそれがあります。そのような違反が発生してもLeica Camera AGは一切責任を負いません。
- 無線通信で送受信された画像は、第三者に傍受されるおそれがありますのでお気をつけください。情報セキュリティ確保のため、ワイヤレスアクセスポイントで暗号化を設定することを強くおすすめします。
- 電子レンジの近くなど、磁気、静電気、電波障害が発生する場所では使用しないでください。そのような環境下で使用した場合、カメラの無線通信が正常に行えない場合があります。
- 2.4GHz帯の電波を使用する電子レンジやコードレス電話などの近くで使用すると、機器の性能が低下することがあります。
- 利用権限のないワイヤレスネットワークには接続しないでください。
- ワイヤレスLAN機能を有効にすると、カメラがワイヤレスネットワークを自動検索します。検索結果に利用権限のないネットワーク (SSID: ワイヤレスLANの表示名) が表示される場合があります。不正アクセスとみなされるおそれがあるためそのようなネットワークには接続しないでください。
- 航空機内ではワイヤレスLAN機能をオフにすることをおすすめします。
- 5150 MHz~5350 MHzのワイヤレスLAN周波数帯域は、屋外での使用は禁止されています。
- Leica FOTOSの機能について詳しくは、p.66をご確認ください。

## 注意事項

### 一般的な取り扱いについて

- 強い磁気、静電気、電磁波を発生する機器（電磁調理器、電子レンジ、テレビ、パソコンのモニター、ゲーム機、携帯電話、無線機など）の近くで使用しないでください。磁気により記録データが影響を受けることがあります。
- スピーカーや大型の電動モーターなどの強い磁気により、保存した画像データが破損することがあります。
- 電磁波の影響で、本製品が正常に動作しなくなった場合は、バッテリーを入れ直してから再度電源を入れてください。
- 小さな付属品（アクセサリシューカバーなど）を保管するときは、次の点にお気をつけください。
  - 乳幼児の手の届くところに置かない。
  - 製品パッケージの所定の位置など、紛失しない場所に保管する。
- 電子機器は、人体に帯電した静電気の影響で不具合を起こす場合があります。合成繊維のカーペットの上を歩くなどすると、人体に大量の静電気が帯電します。導電性があるものの上に本製品が置かれていた場合は、本製品に触れると静電気放電がおこります。静電気が電子回路内に入らなければ、問題ありません。本製品は安全回路を装備していますが、安全のためアクセサリシューなどの端子部には手を触れないでください。
- 指定されたアクセサリ以外には使用しないでください。故障、感電、ショートの原因になります。
- 本製品を分解・改造しないでください。修理は、ライカ指定のサービスセンターにて専門の修理担当者にご依頼ください。
- 雨や雪の中、または浜辺などで使用するときは、内部に水滴や砂、ほこりなどが入り込まないようにお気をつけください。レンズ交換（システムカメラ使用時）やメモリーカード//バッテリーの出し入れの際は特にお気をつけください。砂やほこりが入り込むと、本製品、メモリーカード、バッテリーの故障の原因となります。水滴が入り込むと、カメラやメモリーカードが正常に動作しなくなったり、修理できなくなる場合があります。

### レンズ

- レンズの正面に強い太陽光が当たると、レンズがルーベと同じ作用をします。太陽光とレンズの作用により内部が破損しますので、レンズを保護せずに強い太陽光に向けたまま放置しないでください。レンズキャップを取り付け、日陰に置く、またはケースに収納するなど、強い太陽光が当たらないようにしてください。

### バッテリー

- 新しいバッテリーは、カメラで初めて使用する前に充電することで活性化させる必要があります。バッテリーは少量充電された状態で配送されるため、フル充電することをお勧めします。
- バッテリーは絶対に火の中に投げ入れないでください。破裂の原因となります。
- バッテリーが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに火気から遠ざけてください。漏れた液に引火するおそれがあります。
- 指定以外のバッテリーチャージャーを使用すると、バッテリーの故障の原因となるだけでなく、最悪の場合は死亡または重傷を負うおそれがあります。
- バッテリーチャージャーを使用するときは、コンセントの周りにほこりがたまっていないか確認してください。
- バッテリーおよびバッテリーチャージャーを分解しないでください。修理は、ライカ指定のサービスセンターにご依頼ください。

#### バッテリーから漏れた液が人体などに付着した場合の処置

- 液が目に入ると失明の原因となることがあります。目をこすらず、直ちにきれいな水でよく洗い流し、医師の診察を受けてください。
- 液が皮膚や衣服に付着した場合は、皮膚に傷害を起こすおそれがあります。直ちにきれいな水でよく洗い流してください。

### バッテリーチャージャー

- バッテリーチャージャーを無線受信機の近くで使用すると、受信障害を引き起こすことがあります。無線受信機から1m以上離れてお使いください。

- ・充電中に音がすることがありますが、異常ではありません。
- ・バッテリーを充電していない場合でも、コンセントに差し込んだままにしておくと、微量の電力を使います。使用しないときはコンセントから抜いてください。
- ・端子部は清潔に保ってください。また、絶対にショートさせないでください。

## メモリーカード

- ・画像の読み込み中や書き込み中は、メモリーカードを本機から取り出さないでください。また本機の電源を切ったり、本機に振動を与えたりしないでください。
- ・LEDランプが点灯しているときは、カメラがメモリーカードにアクセス中です。バッテリー/メモリーカードスロットカバーを開けたり、バッテリーやメモリーカードを取り出したりしないでください。メモリーカードに記録したデータが破損したり、カメラが故障したりするおそれがあります。
- ・落としたり曲げたりしないでください。破損して記録データが消失する原因となります。
- ・メモリーカードの裏にある端子部に触れないでください。また、汚れやほこりが付着したり、水でぬらしたりしないようにご注意ください。
- ・メモリーカードは乳幼児の手が届かない場所に保管してください。乳幼児がメモリーカードを飲み込んで窒息するおそれがあります。

## 撮像素子

- ・宇宙線の影響により（航空機内に持ち込んだ場合など）、画素に異常が生じることがあります。

## キャリングストラップ

- ・キャリングストラップは丈夫な材質によって作られています。乳幼児の手が届かないところに保管してください。首に巻きつくなど、事故につながるおそれがあります。
- ・キャリングストラップは、カメラまたは双眼鏡を持ち運ぶ目的のみで使用ください。傷害の原因となる可能性があるため、他の用途では絶対に使用しないでください。

- ・キャリングストラップが引っかかり、首が絞まるおそれがあり危険なため、登山やアウトドアスポーツの際には使用しないでください。

## 三脚

- ・三脚を使用するときは、三脚の強度をご確認の上、カメラ本体ではなく三脚の方を回して取り付けてください。三脚を取り付ける際は、三脚のねじを回しすぎたり、無理な力を加えないようご注意ください。また、カメラを三脚に取り付けただまま持ち運ばないでください。他人を傷つけたりカメラを破損するおそれがあります。

## フィルム/写真

- ・写真は乳幼児の手が届かない場所に保管してください。フィルムパック内の取扱説明書も参照し、注意事項にお気をつけください。

## BLUETOOTH

- ・無線で送信されたデータ（画像）は第三者に傍受される可能性があります。また無線LANを介して送信されるデータのセキュリティも保証されていません。
- ・電子レンジなど、磁界や静電気、電波干渉が発生し、電波を受信できない恐れがある機器の近くでは使用しないでください。本機のBluetoothは2.4GHz周波数帯で動作します。そのため2.4GHz帯で動作する他のワイヤレスデバイスが近くにある場合、相互干渉が発生する可能性があります。
- ・標準出力は約3.16mWです。

## 本製品の取り扱いについて

その他、詳しくは「お手入れ/保管」をご参照ください。

### カメラ/レンズ

- カメラとレンズのシリアルナンバーは、紛失・盗難の際に重要となりますので、書き写して大切に保管してください。
- カメラのシリアルナンバーは、機種によってホットシューまたはカメラ底面に刻印されています。
- ボディキャップやレンズリアキャップを衣類のポケットに入れたままにしないでください。ポケット内側のほこりが付着し、カメラやレンズに取り付けた際に内部にほこりが入り込むことがあります。

### モニター

- 寒い場所から暖かい場所に持ち込むと、モニターに結露が生じることがあります。結露が生じた場合は、乾いた柔らかい布で丁寧に拭き取ってください。
- 寒い場所で電源を入れた場合、表示が通常よりやや暗いことがあります。カメラが温まるにつれて、明るさは元に戻ります。

### バッテリー

- 充電は一定の温度範囲内でのみ行えます。動作条件について詳しくは「テクニカルデータ」の項目 (p.76) をご参照ください。
- リチウムイオンバッテリーは現在のバッテリー残量に関係なくいつでも充電することができます。残量が多い状態で充電すると充電時間は短くなります。
- お買い上げ時バッテリーは満充電されていないので、最初にご使用になる前に充電してください。
- 新しいバッテリーは、満充電してから完全放電させる（カメラに入れて使い切る）というサイクルを、最初に2、3回行うことで、性能を十分に発揮できるようになります。その後もこのサイクルを25回に1回の間隔で行うことをおすすめします。

- バッテリーとチャージャーは充電中に温かくなります。これは異常ではありません。
- 充電式リチウムイオンバッテリーは、内部の化学反応により電力を発生します。この化学反応は外部の温度と湿度の影響を受けやすいため、極端な温度条件のもとでは電池寿命が短くなります。バッテリーを長持ちさせるために、夏季や冬期の自動車内など、極端に暑い場所や寒い場所に放置しないでください。
- バッテリーには寿命があります。最適な条件のもとで使用し続けても、数百回の充電を重ねると容量が低下し、使用時間が極端に短くなります。

### メモリーカード

- メモリーカードは非常に多くのメーカーから販売されているため、すべてのカードの動作確認は行っていません。通常はカードの品質が原因で本製品が故障することはありません。しかし低価格の製品にはごくまれに品質基準を満たしていないものもあるため、ライカでは信頼性の高いメーカーのメモリーカードを使用することをおすすめします。
- データ削除を繰り返すと断片化が生じて空き容量が少なくなりますので、定期的にフォーマット（初期化）することをおすすめします。
- 通常は使用中のメモリーカードをフォーマットする必要はありません。まったくフォーマットされていない、あるいはパソコンなど他の機器でフォーマットしたメモリーカードを使う場合は、必ず本製品でフォーマットしてからご使用ください。
- 電磁波、静電気、カメラ本体やメモリーカードの故障により、メモリーカードのデータが破損・消失することがあります。データをこまめにパソコンに取り込み、バックアップをとることをおすすめします。
- メモリーカードは書き込み防止スイッチを装備していますので、誤って画像を書き込んだり消したりしてしまう心配がありません。このスイッチは、カード本体の角が斜めになっていない側にあります。下側の「LOCK」の方向にスライドさせて書き込み防止にしてください。
- フォーマットするとすべてのデータが削除されます。元に戻すことはできませんのでお気をつけください。フォーマットすると、マークのついた画像も削除されます。

## 撮像素子

- ほこりなどの粒子が撮像素子表面のカバーガラスに付着すると、画像上に黒い点やシミのように写ることがありますのでお気をつけください（システムカメラ使用時）。ライカカスタマーケア（p.80）ではセンサークリーニングサービスをご利用いただけます。クリーニングサービスは保証の対象外となり、有料とさせていただきます。

## 画像データ

- 本機が不適切な取り扱いにより故障した結果、記録したデータが破壊されたり、消滅したりすることがあります。
- 記録したデータの消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## ファームウェアのアップデート

ライカは、ライカ Sofort 2の機能の向上や不具合の改善に継続的に取り組んでいます。デジタルカメラでは多くの機能がファームウェアで制御されており、お買い上げの後でも機能を追加したり不具合を改善したりできます。機能を追加したり不具合を改善したりするために、ライカは最新のファームウェアを随時提供しています。通常ではカメラが工場から出荷される際に最新のファームウェアがインストールされますが、お客様で自身でもライカのホームページから最新のファームウェアをダウンロードし、カメラを簡単にアップデートすることが可能です。

お手持ちの製品のユーザー登録をされたお客様には、最新ファームウェアのリリース情報をお知らせするニュースレターをお届けします。

ファームウェアのアップデート情報、アップデートに伴う改善内容や追加機能、およびカスタマー登録についての詳細は、ライカカスタマーサイト (<https://club.leica-camera.com>) からご覧いただけます。

## ライカカメラAGの保証条件について

### ライカカメラAGの保証条件について

このたびは弊社の製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

販売店に対する法律に準じた保証の請求権に併せ、Leica Camera AG (「LEICA」)は以下の「ライカ保証」の規定に基づき、ライカ製品の製品保証を行っております。「LEICA」が提供する保証は、国内法に基づくお客様の消費者としての法的権利ならびにお客様と販売店との販売契約に基づいた権利を制限するものではありません。

ライカカメラAG

### ライカ保証

本製品は、長年の経験を有する技術者が個々の工程で検査を行いながら、非常に高い品質基準に沿って製造されています。本製品の保証内容は以下の通りです。

### 保証範囲

保証期間中に、設計上または製造上の問題により保護製品に故障が発生した場合は、弊社の判断に基づき、修理ならびに故障部品の交換もしくは製品の交換を無料で行います。

これらに該当しない故障につきましては、いかなる保証も致しかねます。

### 保証対象外

アイカップ、レザー外装、キャリングストラップ、補強材などの消耗箇所、アクセサリー、また表面の損傷は保証の対象外です。

### 補償請求が無効となる場合

乱用または取扱説明書記載以外の誤操作等、使用上の誤りによる故障および破損、弊社の認定するサービス窓口以外で行われた修理、改造、分解等による故障および破損、またシリアル番号が不明な場合も保証の対象外です。

### 補償請求をする場合

補償請求のためには、弊社が認定したライカ販売店（以下「ライカ正規販売店」）からライカ製品を購入したことを証明する書類の写しが必要です。購入証明書には、購入日、ライカ製品名、商品番号、シリアル番号、ライカ正規販売店の詳細が記載されている必要があります。また、領収書の原本の提示をお願いする場合があります。保証書のコピーをお送りいただくことも可能です。ただし、保証書には必要事項がすべて記入され、ライカ正規販売店を通じて販売されたものでなければなりません。

ライカ製品を購入時のレシートまたは保証書のコピーと苦情の内容を添えて、下記までお送りください。

Leica Camera AG  
Customer Care  
Am Leitz-Park 5  
35578 Wetzlar  
Germany

またはご希望のライカ代理店までお問い合わせください。

弊社では、EU圏内のピックアップサービスも行っています。サービスをご希望される場合はcustomer.care@leica-camera.comまたは+49 6441 2080-189にご連絡ください。保証期間内であることを示す書類（保証書やご購入日が明記されている納品書やレシートのコピーなど）も必ず同梱してください。

### 保証期間

本製品に対する保証は、ライカの正規販売店で販売された日から、以下の条件に沿って適用されます。

ライカ フォト製品	保証期間
すべての製品	2年



## 目次

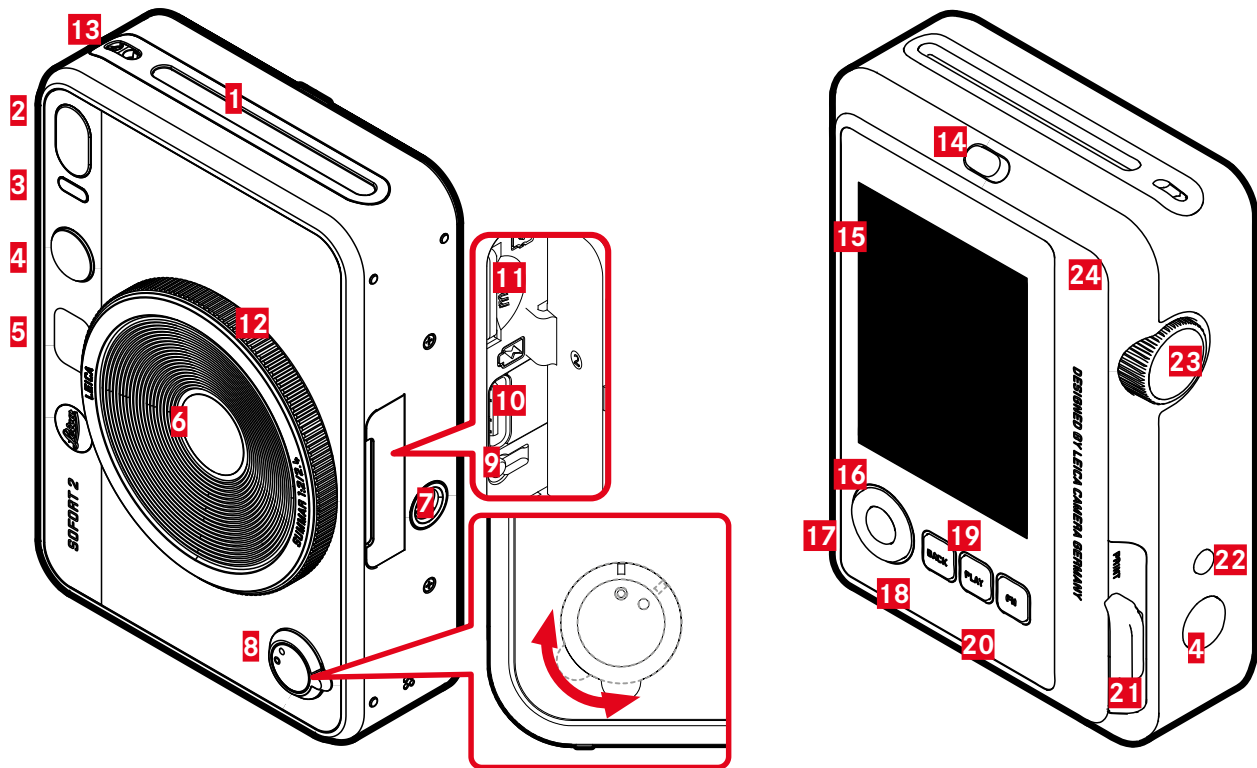
はじめに .....	2	使用前の準備 .....	20
付属品 .....	2	ハンドストラップを取り付ける .....	20
スペアアクセサリ/アクセサリ .....	3	バッテリーを充電する .....	20
法律に関する事項 .....	4	USBを用いて充電する .....	20
注意事項 .....	6	メモリーカードを入れる/取り出す .....	21
一般的な取り扱いについて .....	6	フィルムを交換する .....	22
レンズ .....	6	入れる .....	22
バッテリー .....	6	取り出す .....	23
バッテリーチャージャー .....	6	基本的な操作・設定 .....	24
メモリーカード .....	7	各種ボタン/ダイヤル .....	24
撮像素子 .....	7	メインスイッチ .....	24
キャリングストラップ .....	7	シャッターボタン .....	25
三脚 .....	7	「フィルム・エフェクト」設定ダイヤル .....	26
フィルム/写真 .....	7	「レンズ・エフェクト」設定ダイヤル .....	26
BLUETOOTH .....	7	「エフェクト・リセット」ボタン .....	27
本製品の取り扱いについて .....	8	セレクターボタン/ MENU/OKボタン .....	27
ライカカメラAGの保証条件について .....	10	PLAYボタン/ BACKボタン/ FNボタン .....	28
ライカ保証 .....	10	モニター .....	28
保証範囲 .....	10	プリントレバー .....	28
保証対象外 .....	10	メニュー操作 (メニュー内での操作/メニューに関する設定) .....	29
補償請求が無効となる場合 .....	10	各種ボタン/ダイヤル .....	29
補償請求をする場合 .....	10	メニューの種類 .....	29
保証期間 .....	10	アイコンメニュー .....	30
目次 .....	12	リストメニュー .....	32
各部名称 .....	14	メニュー内の移動 .....	33
表示 .....	16	カメラの基本設定 .....	34
		表示言語 .....	34
		日付/時刻 .....	34
		省エネモード (スタンバイモード) .....	35
		お知らせ音 .....	35
		ボタン音 .....	35
		電子シャッター音 .....	35
		起動音 .....	35
		無音撮影 .....	36





撮影設定	38
フィルム・エフェクト	38
レンズ・エフェクト	39
エフェクトのコンビネーションを保存する	40
日付書き込み	40
データ管理	41
メモリーカードをフォーマット (初期化) する	41
データを転送する	41
LEICA FOTOSを介して転送する	41
撮影モード	42
ピント合わせ	42
AFで撮影する	42
デジタルズーム	42
顔認識	43
AF補助光	43
AF確定音	43
マクロ機能	44
ホワイトバランス	44
オート/プリセット	45
露出	45
露出補正	45
撮影モード	46
セルフタイマー撮影	46
フラッシュ撮影	46
フラッシュなし撮影 (フラッシュ抑制)	46
プリントモード	48
プリントモード	48
プリントの明るさ	49
再生モード	50
再生モード時に使用する各種ボタン/ダイヤル	50
再生モード時のショートカット機能	51
画像を再生する/再生を終了する	51

画像を選択する/スクロールする	52
再生モード時の情報表示	52
拡大倍率	53
一覧表示	53
画像を削除する	54
1コマずつ削除する	55
すべての画像を削除する	56
画像を回転する	57
画像表示範囲を移動する	58
画像表示範囲をクロップする	58
画像をコピーする	59
プリント履歴を消去する	60
プリント履歴を転送する	60
その他の機能	62
初期設定に戻す (すべての設定をリセットする)	62
ファームウェアアップデート	63
ファームウェアをアップデートする	64
LEICA FOTOS	66
接続	66
新しい端末に接続する	66
ペアリングをスキップする	67
登録済み端末に接続する	67
ファームウェアをアップデートする	68
お手入れ/保管	70
FAQ	72
テクニカルデータ	76
ライカ カスタマーケア	80
ライカ アカデミー	81



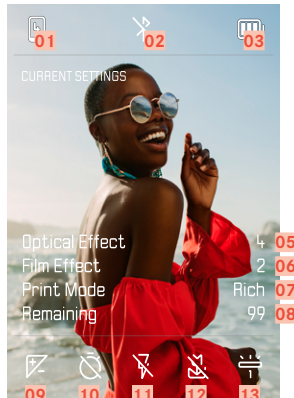
## LEICA SOFORT 2

- 1 フィルム排出口
- 2 フラッシュ
- 3 セルフタイマーランプ/充電LEDランプ
- 4 シャッターボタン
- 5 セルフィーミラー
- 6 レンズ:ライカ ズマー 2.4 f/2
- 7 三脚用ねじ穴
- 8 メインスイッチ
- 9 再起動ボタン
- 10 USB-Cポート
- 11 メモリーカードスロット (microSD)
- 12 「レンズ・エフェクト」設定ダイヤル
- 13 ストラップ取り付け部
- 14 裏ぶたロック
- 15 モニター
- 16 セレクターボタン
- 17 MENU/OKボタン
- 18 BACKボタン
- 19 PLAYボタン
- 20 FNボタン
- 21 プリントレバー
- 22 「エフェクト・リセット」ボタン
- 23 「フィルム・エフェクト」設定ダイヤル
- 24 裏カバー (開閉式)

## 表示

## ホーム画面

- ▶ BACKボタンを押す。
  - 追加情報が表示されます。



- 01 フィルム残量
- 02 Bluetooth® (Leica FOTOS)
- 03 バッテリー残量
- 04 表示中の画像ファイル番号
- 05 設定中の「レンズ・エフェクト」
- 06 設定中の「フィルム・エフェクト」
- 07 プリントモード

## 静止画再生時

表示画像撮影時の設定内容/値が表示されます。

- ▶ BACKボタンを押す。
  - 追加情報が表示されます。

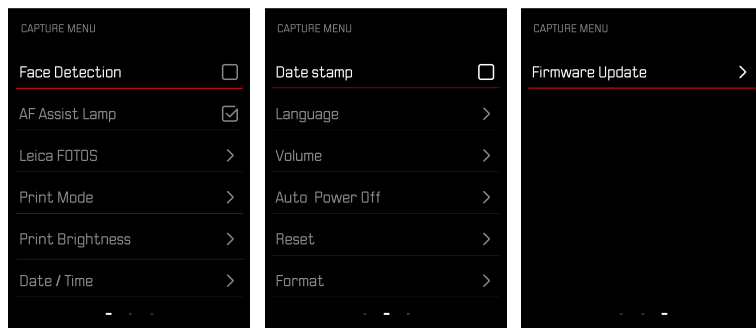


- 08 メモリーカード残容量
- 09 露出補正
- 10 セルフタイマー撮影
- 11 フラッシュモード
- 12 マクロモード
- 13 ホワイトバランス

## 撮影メニュー

撮影モード時

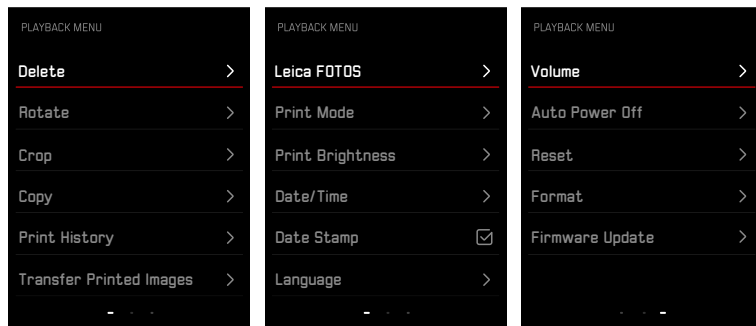
- ▶ MENU/OKボタンを押す。



## 再生メニュー

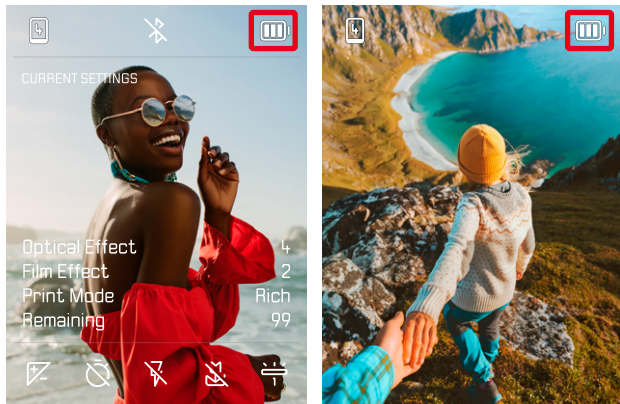
再生モード時





- ▶ MENU/OKボタンを押す。



## バッテリー残量表示 (モニター)

バッテリー残量はホーム画面またはヘッダーの右上に表示されます。



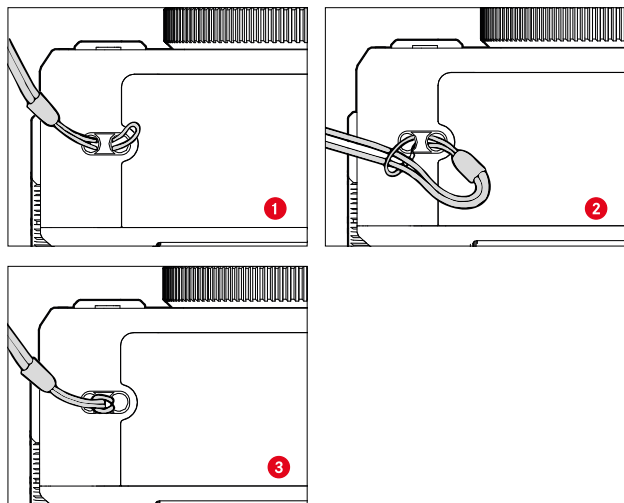
表示	バッテリー残量
	約80-100%
	約50-79%
	約20-49%
	約0% バッテリーを充電してください。



## 使用前の準備

本製品使用時の事故や怪我、または故障を防ぎ、各種リスクを軽減するため、本製品をお使いになる前に、「法律に関する事項」、「注意事項」、「本製品の取り扱いについて」を必ずお読みください。

### ハンドストラップを取り付ける

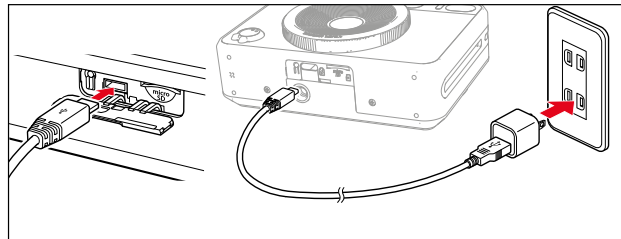


### バッテリーを充電する

本機をお使いになるには、同梱の充電式リチウムイオンバッテリーが必要です。

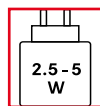
### USBを用いて充電する

USBケーブルを使用してカメラをコンピューターまたは適切な電源に接続すると、カメラに搭載されたバッテリーは自動的に充電されます。



- ▶ カメラの電源を切る
- ▶ USB Type-Cケーブルを差し込む (図を参照)

### メモ



供給電力が2.5W～5Wの充電器を使用してください。



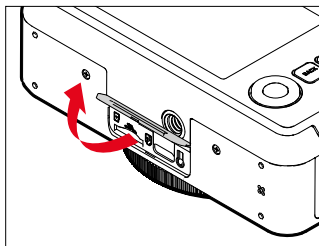
## メモリーカードを入れる/取り出す

本機では、microSD/SDHC/SDXCカードが使用できます（本書では「メモリーカード」と表記しています）。

### メモ

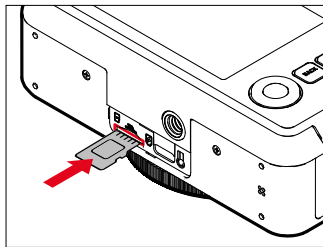
- メモリーカードは、各メーカーからさまざまな容量・転送速度のカードが販売されています。大容量かつ転送速度の速いメモリーカードを使用すると、すばやく書き込み/読み込みを行えます。
- メモリーカードを本機で最初に使用する際には、フォーマットする必要があります（p.41）。カードの容量によっては、本機で使用できない場合があります。その際、モニターにメッセージが表示されます。使用できるメモリーカードに関しては、「テクニカルデータ」の項目をご参照ください。
- メモリーカードがうまく入らない場合は、挿入方向を確認してください。
- MicroSDカードは同梱されていません。

## メモリーカードスロットカバーを開ける



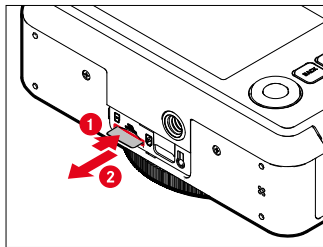
- ▶ カメラの電源が切れていることを確認する。（p.24）
- ▶ 図のようにカバーを開ける。

## ✂ 入れる



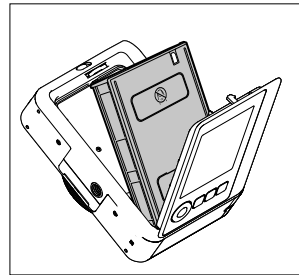
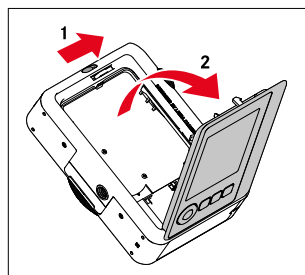
- ▶ メモリーカードの接点をレンズ側に向け、カチッと音がするまで押し込む。

## 取り出す



- ▶ 軽くカチッと音がするまでメモリーカードを押し込む。
  - ・ わずかにメモリーカードが押し出されます。
- ▶ メモリーカードを取り出す。

## フィルムを交換する



## 入れる

- ▶ 裏ぶたロックを押し下げてから、裏ぶたを開く。
- ▶ フィルムの左右を持つ。
- ▶ フィルムにある線とカメラ内部の黄色のマークを合わせる。
- ▶ フィルムをまっすぐ押し込むようにを入れる。
- ▶ スロットカバーを閉じる。
- ▶ フィルムカバーを取り出す。

## 注意

- ・ **フィルムトランスポートの作動中は、リアパネルを開けないでください!**

## 取り出す

- ▶ 裏ぶたロックを押し下げてから、裏ぶたを開く。
- ▶ フィルムの横端を持ち、まっすぐに取り出す。

## 注意

- **フィルムトランスポートの作動中は、リアパネルを開けないでください!**
- フィルムを使い切るまでは、裏ぶたを開けないで下さい。途中で開けると、フィルムが感光して白くなり、写真が写りません。
- フィルムを入れるときは、フィルム背面の2カ所の長方形の穴は絶対に押さないでください。
- ライカ Sofortカラーフィルムのみを使用してください。2種類のフィルムが使用できます：ライカカラーフィルム (ミニ) Warm White: 1967、ライカカラーフィルム (ミニ) Neo Gold: 19678



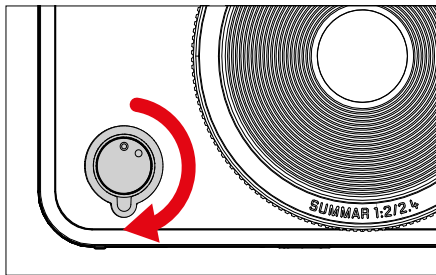
## 基本的な操作・設定

### 各種ボタン/ダイヤル

#### メインスイッチ

電源のオン/オフはメインスイッチで行います。

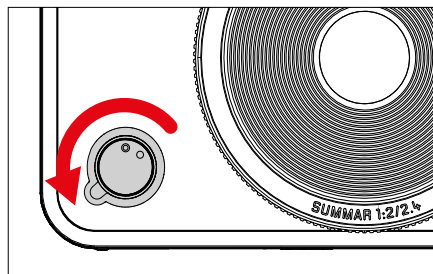
#### カメラの電源を入れる



#### メモ

- 電源を入れてから約1秒後にカメラが使用できる状態になります。

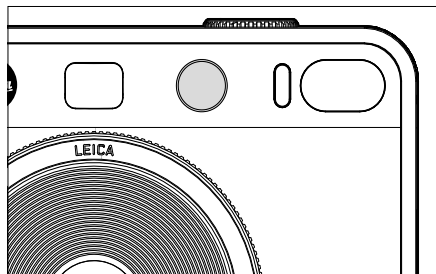
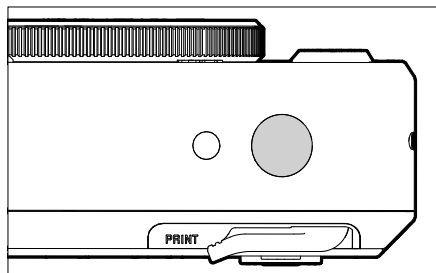
#### カメラの電源を切る



#### メモ

- オートパワーオフ** 機能をオンに設定すると、一定時間操作をしない場合、自動的にカメラの電源が切れるようになります。オートパワーオフ機能が**オフ**に設定されていて長時間カメラを使用しない場合は、誤ってシャッターボタンを押したり、バッテリーの放電が起こるのを防ぐため、必ずメインスイッチで電源を切ってください。

## シャッターボタン



シャッターボタンの作動ポイントは2段階です。

### 1. 半押し (最初の作動ポイントまで軽く押し)

- カメラを再起動する。
- AE/AFロック (測定/ロック) :
  - AFモード: 測距
  - 露出モード: 測光
- 撮影モードに戻る。
  - 再生モードから
  - メニュー操作から

### 2. 全押し

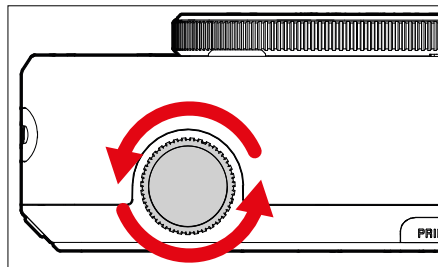
- シャッターを切る。
  - データがすぐにメモリーカードまたは内蔵メモリーに自動転送されます。
  - あらかじめメニューで設定したセルフタイマーを開始する。

### メモ

- プレを防ぐため、シャッターボタンは強く押さず、そっと押し込んでください。
- 以下の場合はシャッターが切れません。
  - メモリーカードまたはバッファメモリーが両方ともいっぱいするとき
  - バッテリーが使用できなくなったとき (残量がなくなる、動作環境外にある、寿命に達するなど)
  - メモリーカードがプロテクトされているときや破損しているとき

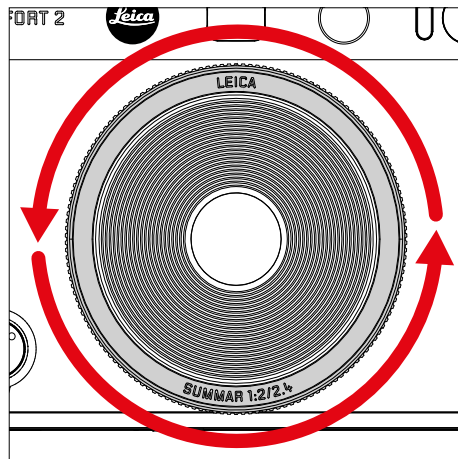
## 「フィルム・エフェクト」設定ダイヤル

本機の「フィルム・エフェクト」設定ダイヤルは、回転方向に関係なく全周回転します。すべての機能ごとにストッパーがあります。選択できるエフェクトは全部で10つです。詳しくは、p.39をご覧ください。

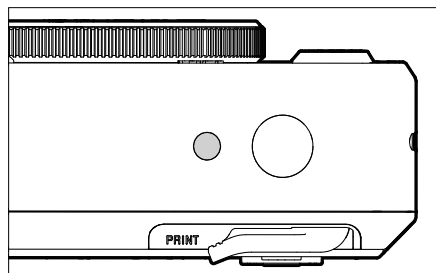


## 「レンズ・エフェクト」設定ダイヤル

「レンズ・エフェクト」設定ダイヤルも、回転方向に関係なく全周回転します。選択できるエフェクトは全部で10つです。詳しくは、p.38をご覧ください。

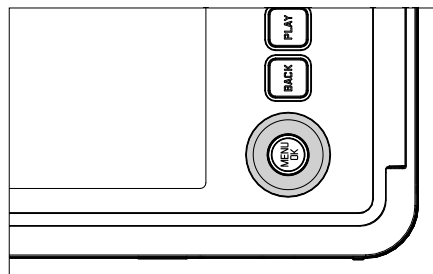


## 「エフェクト・リセット」ボタン



- 選択中のエフェクトをリセット

## セレクターボタン/MENU/OKボタン



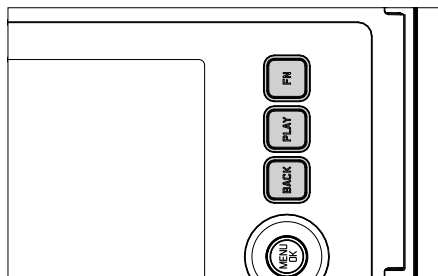
### セレクターボタン

- メニュー内の移動
- 選択したメニュー項目/機能の設定
- 再生モード時の一覧表示画面のスクロール

### MENU/OKボタン

- サブメニューの呼び出し
- 選択の確定
- メッセージの確定
- メニュー機能のショートカット

## PLAYボタン/BACKボタン/FNボタン



### FNボタン

- 選択中の「レンズ・エフェクト」と「フィルム・エフェクト」を保存
- 保存した「レンズ・エフェクト」と「フィルム・エフェクト」のコンビネーションの呼び出し

### PLAYボタン

- 再生モード⇔撮影モードの切り替え

### BACKボタン

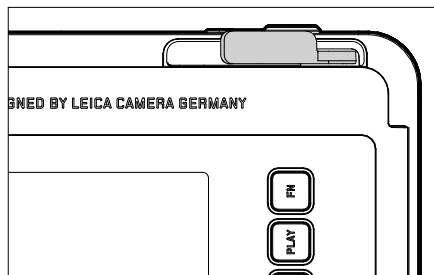
- 情報表示画面の呼び出し
- 撮影時、設定内容の表示
- 再生時、撮影データの表示
- 戻る (サブメニューを終了する)

## モニター



- 撮影時の設定の表示
- メニュー設定にショートカット

## プリントレバー



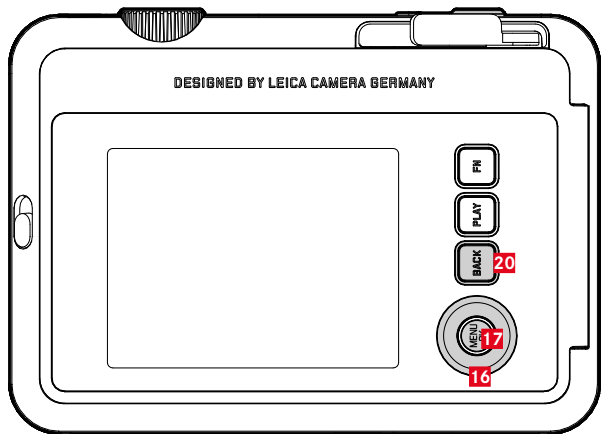
- 選択した画像をプリント



## メニュー操作 (メニュー内での操作/メニューに関する設定)

### 各種ボタン/ダイヤル

メニュー操作には以下のボタン/ダイヤルを使用します。



**20** FNボタン

**17** MENU/OKボタン

**16** セレクターボタン

## メニューの種類

メニューの種類: アイコンメニューとリストメニュー(撮影メニューと再生メニュー)。

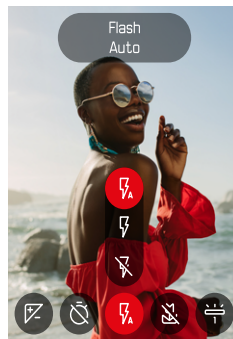
アイコンメニュー:

- すばやく各種設定を確認したり、重要な項目にアクセスできます。

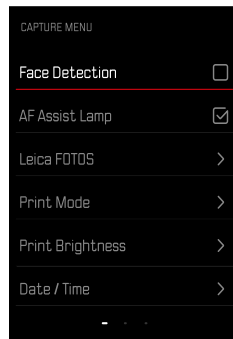
リストメニュー:

- すべてのメニュー項目 (各種サブメニューを含む) にアクセスできます。

### アイコンメニュー

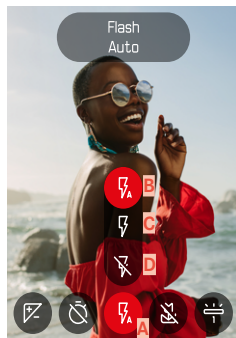


### リストメニュー

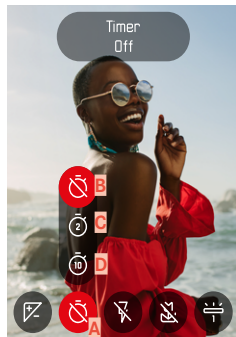


## アイコンメニュー

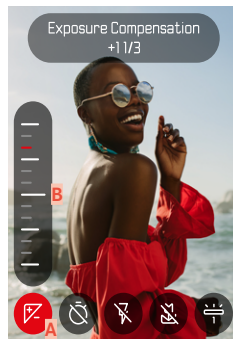
ホーム画面には、頻繁に使用する各種機能/設定が表示されます。そこからそれぞれの機能へすばやくアクセスすることができます。



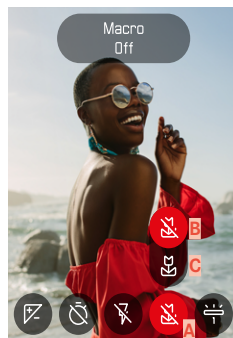
- A メニュー項目：フラッシュ設定
- B オート
- C オン
- D オフ



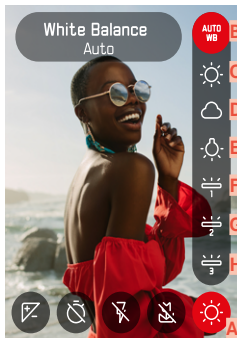
- A メニュー項目：セルフタイマー
- B オフ
- C 2秒
- D 10秒



- A メニュー項目：露出補正
- B 露出補正目盛



- A メニュー項目：マクロ設定
- B オフ
- C オン



A メニュー項目：ホワイトバランス

B オート

C 晴天

D くもり

E 白熱灯

F 蛍光灯1

G 蛍光灯2

H 蛍光灯3

#### メモ

- 設定はすぐに有効となります。

## 設定方法

アイコンメニューを呼び出すには

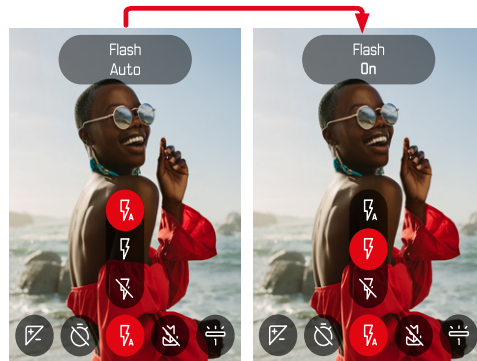
- ▶ セレクターボタンの左または右を押す。

メニュー項目を選択するには

- ▶ セレクターボタンの左または右を押す。

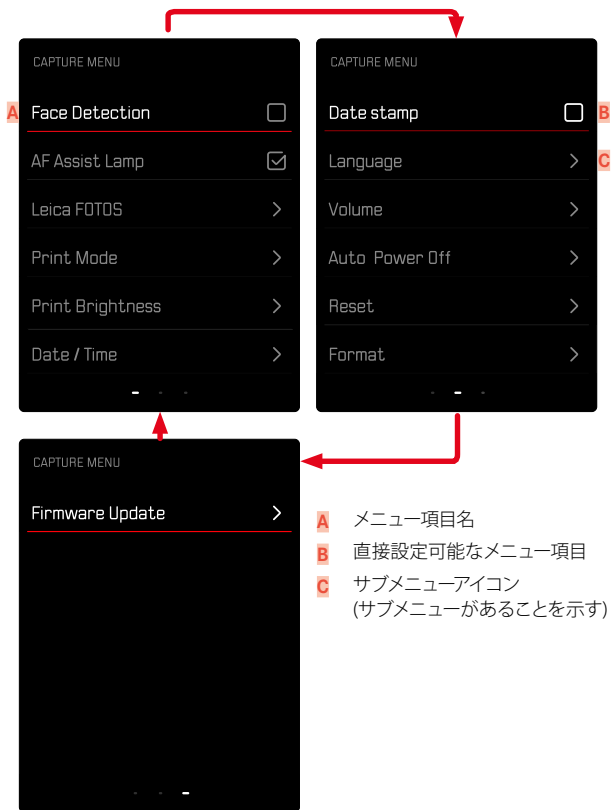
希望する設定を選択するには

- ▶ セレクターボタンの上または下を押す。

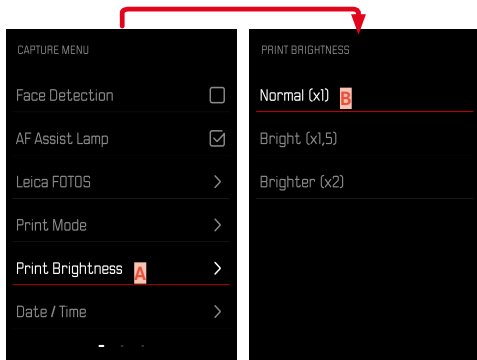


## リストメニュー

リストメニューからは、すべての設定/項目にアクセスすることができます。  
ほとんどのメインメニューにはサブメニューがあります。



## サブメニュー



**A** 設定中のメニュー項目

**B** サブメニュー項目

## メニュー内の移動

### サブメニューを表示する

- ▶ MENU/OKボタンを押す。
- ▶ セレクターボタンの右を押す。

### 確定する

- ▶ MENU/OKボタンを押す。
  - モニターが現在のメニュー項目を含む一覧に戻ります。

### メモ

- **オン**または**オフ**を選択する項目では、決定をする必要はありません。いずれかを選択すると自動的に設定されます。

### 戻る

(1つ前の画面に戻る)

- ▶ セレクターボタンの左またはBACKボタンを押す。
  - この方法は、リスト形式で表示されているサブメニューでのみ有効です。

### メニューを終了する

メニューやサブメニュー内で、設定/変更をするしなにかかわらず、メニューを終了することができます。

### 撮影モードへ切り替える

- ▶ シャッターボタンを半押しまたはBACKボタンを押す。

### 再生モードへ切り替える

- ▶ PLAYボタンを押す。

## カメラの基本設定

カメラの電源を最初に入れた時、初期設定に戻した時 (p.62)、またはファームウェアアップデート時にはLanguage/日付/時刻の項目が自動的に表示されます。設定してください。

### 表示言語

初期設定: 英語

使用可能言語: ドイツ語、英語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語、日本語、簡体中国語、繁体中国語、韓国語

- ▶ 撮影メニューでLanguageを選択する。
- ▶ 希望する言語を選択する。
  - ・ 一部の項目と略称 (ISOなど) を除き、表示言語が変わります。

### 日付/時刻

表示形式は6種類から選択できます。

- ▶ 撮影メニューで日付/時刻を選択する。
- ▶ 希望する表示形式を選択する。  
(年/月/日/12時間, 年/月/日/24時間, 日/月/年/12時間, 日/月/年/24時間, 月/日/年/12時間, 月/日/年/24時間)
- ▶ 日付と時刻を設定する



## 省エネモード (スタンバイモード)

バッテリーの消耗を防ぐために、一定時間カメラを操作しないと自動的に電源をオフ (スリープ) にすることができます。

2段階で消耗を防ぐことができます。

- 30秒/1分/2分/5分/10分後にスタンバイモードが起動
- モニターのオートパワーオフ (p.35)

初期設定: **2分**

- ▶ 撮影メニューで**オートパワーオフ**を選択する。
- ▶ 希望する設定を選択する。  
(**5分**、**2分**、**オフ**)

### メモ

- スリープからの復帰は、メインスイッチで電源を入れ直してください。

## お知らせ音

電子音でいくつかの機能の設定を確認することができます。以下の機能を個別に設定することができます:

- 電子シャッター音
- AF確定音

### ボタン音

各種電子音の音量を調節することができます。

初期設定: **2**

- ▶ 撮影メニューで**音量**を選択する。
- ▶ **ボタン音**を選択する。
- ▶ 希望する音量を選択する。  
(**オフ**、**1**、**2**、**3**)

### 電子シャッター音

初期設定: **2**

- ▶ 撮影メニューで**音量**を選択する。
- ▶ **シャッター音**を選択する。
- ▶ 希望する音量を選択する。  
(**オフ**、**1**、**2**、**3**)

### 起動音

初期設定: **2**

- ▶ 撮影メニューで**音量**を選択する。
- ▶ **起動音**を選択する。
- ▶ 希望する音量を選択する。  
(**オフ**、**1**、**2**、**3**)



## 無音撮影

電子音を出さずに撮影をすることができます。

- ▶ 撮影メニューで**音量**を選択する。
- ▶ **ボタン音/シャッター音/起動音**を選択する。
- ▶ 各項目で**オフ**を選択する。

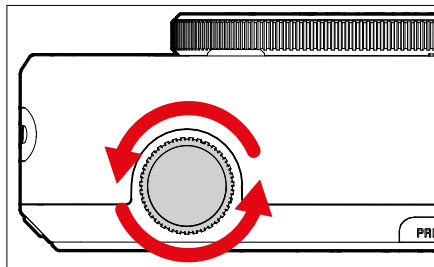




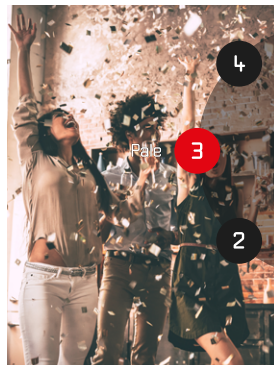
## 撮影設定

デジタル写真には数多くのメリットがありますが、その1つが画質を簡単に調整できることです。本機では、お好みに合わせて設定を個別に調整できます。

## フィルム・エフェクト

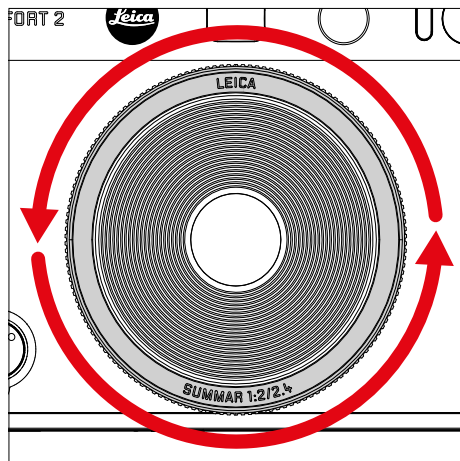


- ▶ 撮影モード時に「フィルム・エフェクト」設定ダイヤルを回す。
  - メニューが表示されます。

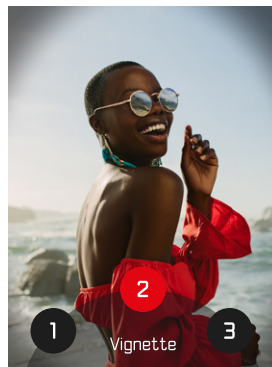


- 1 ノーマル
- 2 ビビッドトーン
- 3 ベールトーン
- 4 キャンパス
- 5 モノクローム
- 6 セピア
- 7 イエロー
- 8 レッド
- 9 ブルー
- 10 レトロ

## レンズ・エフェクト



- ▶ 撮影モード時に「レンズ・エフェクト」設定ダイヤルを回す。
  - ・ メニューが表示されます。



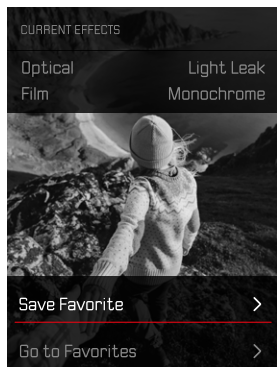
- 1 ノーマル
- 2 ビネット
- 3 ソフトフォーカス
- 4 ぼかし
- 5 魚眼
- 6 色ずれ
- 7 光漏れ
- 8 ミラー
- 9 二重露光
- 10 ハーフフレーム



## エフェクトのコンビネーションを保存する

お気に入りのエフェクトのコンビネーションを最大3つまで保存し、素早く呼び出すことができます。

- ▶ 撮影モード時に「レンズ・エフェクト」設定ダイヤルを回す。
  - ・ メニューが表示されます。
- ▶ 設定ダイヤルを回して希望するレンズ・エフェクトを選択する。
- ▶ 「フィルム・エフェクト」設定ダイヤルを回す。
  - ・ メニューが表示されます。
- ▶ 設定ダイヤルを回して希望するフィルム・エフェクトを選択する。
- ▶ FNボタンを押す。



- ▶ お気に入りに登録するを選択する。
- ▶ 希望する保存先を選択する。
- ▶ OKボタンを押す。
  - ・ コンビネーションが保存されます。

## 日付書き込み

本機能をオンにすると撮影日時情報を撮影データに書き込むことができます。



- ▶ 撮影メニューで日付書き込みを選択する。
- ▶ OKボタンを押して機能をオンまたはオフにする。
  - ・ 撮影日時はプリント画像にも保存画像にも表示されます。

## データ管理

### メモリーカードをフォーマット (初期化) する

新しいメモリーカードや他の機器で使用したメモリーカードを使用する場合は、必ず本機でフォーマットしてからご使用ください。フォーマットする必要のあるメモリーカードを入れたときは、フォーマットを促すメッセージが表示されます。また撮影時の残留画像 (撮影一時情報) がメモリーカードの容量を占めていることがあるため、時々フォーマットすることをおすすめします。

- ▶ 撮影メニューで**フォーマット (初期化) する**を選択する。
- ▶ 確定する。
  - ・ 処理中はLEDランプが点滅します。

### メモ

- ・ フォーマット中は本機の電源を切らないでください。
- ・ フォーマットすると**すべてのデータ**が削除されます。元に戻すことはできませんのでお気をつけください。フォーマットすると、**マークのついた画像**も削除されます。
- ・ データの消失を防ぐため、撮影した画像を外付けハードディスクやコンピューターに定期的に保存してください。
- ・ メモリーカード内のデータはカメラでフォーマットしてもディレクトリのみが削除されるだけで完全には削除されません。既存ファイルに直接アクセスできなくなるのみです。そのため適切なソフトウェアを使用すると特定の状況下でデータを再現することが可能になります。新しい画像によって上書きされた画像は完全に消去されます。
- ・ パソコンなど他の機器でフォーマットしたメモリーカードを使用する場合は、必ず本機でフォーマットしてから使用してください。
- ・ フォーマットできない場合は、お買い上げの販売店またはライカ カスタマーケア (p.80) までご相談ください。

## データを転送する

データを専用アプリ「Leica FOTOS」にて楽にすばやくモバイル端末に転送することができます。また、カードリーダーやUSBケーブルを使用して転送することもできます。

### LEICA FOTOSを介して転送する

- ▶ 詳しくは、「Leica FOTOS」(p.66) をご参照ください。

### メモ

- ・ 大きなサイズのファイルの転送には、カードリーダーを使用することをおすすめします。
- ・ データ転送中にUSB接続を中断すると、コンピューターやカメラが故障したり、メモリーカードに修復不可能な損傷を与えたりする可能性がありますので、接続を中断しないでください。
- ・ また、バッテリーが消耗して本機の電源が切れることのないようにしてください。パソコンの故障の原因となります。同様の理由から、接続中はバッテリーを取り出さないでください。



## 撮影モード

### ピント合わせ

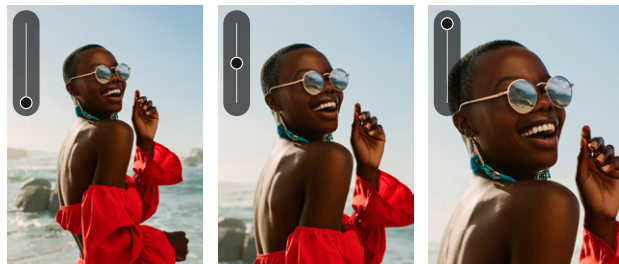
本機では自動でピント合わせが行われます。オートフォーカスでの撮影時に、いくつかのサポート機能があります。

#### AFで撮影する


- ▶ シャッターボタンを半押しし続ける。
  - ・ 測距：
    - ピントが合った場合：AFフレームが緑色に点灯
    - ピントが合わない場合：AFフレームが赤色に点灯
- ▶ シャッターを切る。

### デジタルズーム

常時表示されるズマー 2.4 f/2の撮影範囲に加え、モニターにズームされる箇所を示す枠が表示されます。



#### ズーム倍率を設定する

- ▶ セレクターボタンの上を押す。
  - ・ 倍率ステータスバー  が表示されます。

ズームレベル (10段階) を変更するには

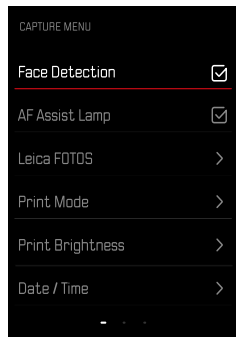
- ▶ セレクターボタンの上または下を押す。

#### メモ

- ・ セレクターボタンで倍率を変更または電源を入れ直さない限り、この機能は有効になります。

## 顔認識

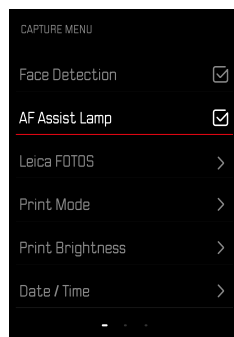
本機では、人物の顔を認識してピントを合わせることができます。検出された顔の最も近い位置にピントが合います。認識できない場合は、フレーム測距AFに切り替わります。



- ▶ 撮影メニューで**顔認識**を選択する。
- ▶ **OK**ボタンを押して機能をオンまたはオフにする。

## AF補助光

内蔵のAF補助光を使うと、暗い場所での撮影時にオートフォーカスでピントを合わせやすくなります。AF補助光設定時は、測距が行われている間、AF補助光が発光します。



- ▶ 撮影メニューで**AF補助光ランプ**を選択する。
- ▶ **OK**ボタンを押して機能をオンまたはオフにする。

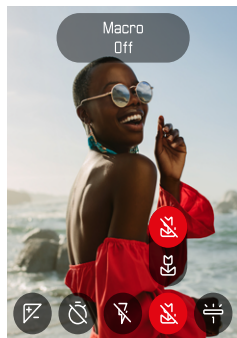
## AF確定音

ピントが合った時に、電子音でお知らせすることができます。詳しくは項目「電子音」p.35をご参照ください。



## マクロ機能

マクロ機能を使用すると、通常のフォーカス範囲 (30cm~∞) からマクロ撮影範囲 (17cm~30cm) へと、すばやく切り換えることができます。



- ▶ アイコンメニュー (p.29をご参照) でマクロを選択する。
- ▶ オンまたはオフを選択する。

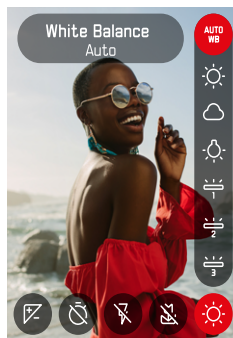
## ホワイトバランス

ホワイトバランスは、光源に応じて自然な色合いで撮影できるようにするためのものです。被写体の中の特定の色を白く写し出すように設定し、この白に基づいて色合いを調整します。

以下の設定から選択できます：

- 自動制御
- プリセット

初期設定：オート








- ▶ アイコンメニューでホワイトバランスを選択する。
- ▶ 希望する設定を選択する。



## オート/プリセット

- オート : 自動設定、
- 異なるプリセット: よくある光源別に最適なプリセットを選べます。

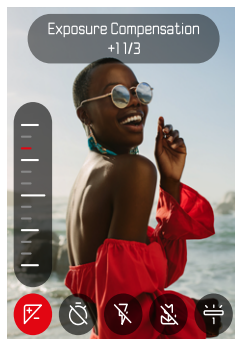
 オート	自動制御
 晴天	晴天の屋外で撮影するとき
 くもり	曇りの日に屋外で撮影するとき
 白熱灯	白熱灯下で撮影するとき
 蛍光灯1	蛍光灯下で撮影するとき設定は3種類から選択可能

## 露出

### 露出補正

露出計は平均的なグレーを基準に露出を決定しています。平均的なグレーとは、平均的な光の反射率をもつ被写体の明るさです。反射率が平均的ではない被写体を撮影するときは、露出が適正になるように補正することができます。露出補正はメニューで解除するまで有効です。

露出補正値は、±2EVの範囲で1/3EVステップで設定できます (EVは「Exposure Value」の略で、露出量の値です)。



- ▶ アイコンメニューで露出補正を選択する。
- ▶ 希望する値をスケール上で選択する。
  - ・ 設定された値がスケール上に表示されます。

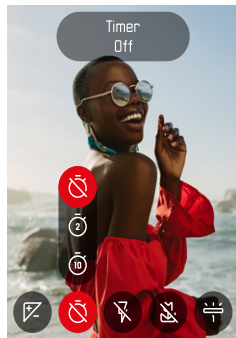
### メモ

- ・ 撮影中、露出補正値の変化に応じて画面の明るさが変わるため、効果を確認できます。
- ・ 設定した露出補正は、入力した補正値にかかわらず機能します。露出補正を解除するには、補正値を0にしてください。カメラの電源を切っても解除されません。

## 撮影モード

### セルフタイマー撮影

セルフタイマーを設定すると、シャッターを押した数秒後に撮影を実行することができます。セルフタイマー撮影時は、三脚の使用をおすすめします。

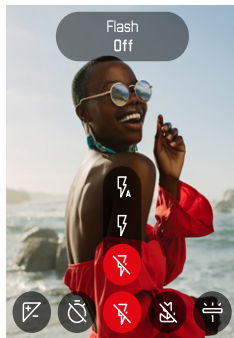


- ▶ アイコンメニューで**セルフタイマー**を選択する。
- ▶ **セルフタイマー 2秒**または**セルフタイマー 10秒**を選択する。
- ▶ シャッターを切る。
  - ・ カウントダウンがモニターに表示され、カメラの前面にあるセルフタイマーランプが点滅します。
  - ・ セルフタイマーのカウントダウン中は、**BACK**ボタンを押すことでいつでも撮影を中断できます。その際、各種設定は解除されません。

## フラッシュ撮影

### フラッシュなし撮影 (フラッシュ抑制)

フラッシュの使用が禁止されている場所や、明るい場所で撮影するときなど、フラッシュを発光させないようにできます。



- ▶ アイコンメニューで**フラッシュ**を選択する。
- ▶ **オフ**を選択する。

#### フラッシュ発光禁止を解除するには

- ▶ アイコンメニューで**フラッシュ**を選択する。
- ▶ **オート**または**オン**を選択する。

#### メモ

- ・ 暗いときには三脚の使用をおすすめします。

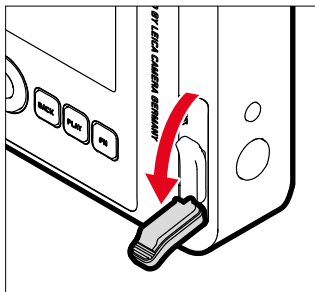




## プリントモード

本機ではお気に入りの画像をインスタント写真としてプリントできます。

- ▶ **PLAY**ボタンを押す。
- ▶ セレクターボタンで希望する画像を選択する。
- ▶ プリントレバーを回す。



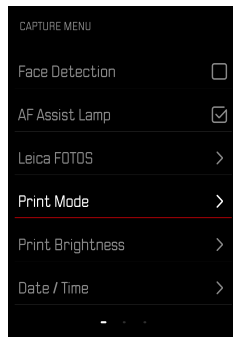
- ▶ フィルムが出てくるのを待つ。
  - ▶ フィルムを排出する音が止まってから、送り出されたフィルムの先端を持って取り出す。
  - ▶ フィルムの現像が終わるのを待つ。
    - ・ フィルムの現像時間は約90秒です（気温によって時間は変動します）。
- 撮影することでフィルムカウンターが「10」から減っていき、最後の1枚を撮り終えると「0」が表示されます。フィルムカウンターに「0」が表示されたら、フィルムを交換してください（p.22）。

### メモ

- ・ 指やストラップがフラッシュ発光部、フラッシュセンサー、露出センサー、レンズ、フィルム出口に掛からないように注意してください。

## プリントモード

プリントしたい画像によって異なる色再現をナチュラルモードとリッチモードの2つから選択することができます。



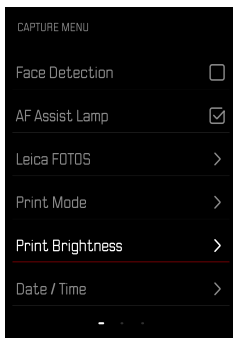
- ▶ 撮影メニューで**プリントモード**を選択する。
- ▶ 希望する設定を選択する。

**（ナチュラル/リッチ）**



## プリントの明るさ

プリントの明るさを補正できるように、画像をプリントする際に3段階で明るさを設定することができます。



- ▶ 撮影メニューで「プリントの明るさ」を選択する。
- ▶ 希望する明るさを選択する。

(普通 (1倍) / 明るめ (1.5倍) / 明るい (2倍))

## 再生モード

画像の再生には2つの方法があります。

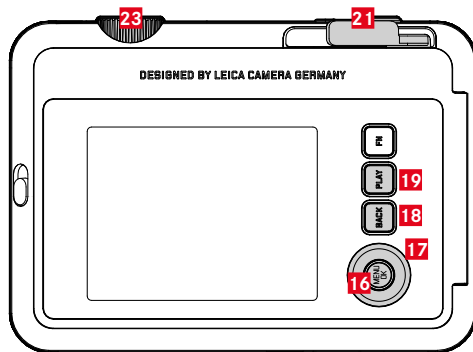
- 撮影直後に短く表示されるプレビュー
- 再生時間の制限がない通常の再生モード（保存した画像の管理ができません。）

### メモ

- 動画の再生時に常にモニター全画面を使用して表示するため、画像は自動回転しません。
- 他のカメラで撮影された画像は、本機で正しく再生されない場合があります。
- カメラが記録された画像を正しく認識できないときには、画像が荒く表示される場合や、真っ黒な画面のままファイル名だけが表示されることがあります。
- シャッターボタンの半押しでも、再生モードから撮影モードへ切り替えることができます。

## 再生モード時に使用する各種ボタン/ダイヤル

### 各種ボタン/ダイヤル



16 セレクターボタン

19 PLAYボタン

17 MENU/OKボタン

21 プリントレバー

18 BACKボタン

23 「フィルム・エフェクト」設定ダイヤル

## 再生モード時のショートカット機能

ファンクションボタンは再生モードでも個別に機能を割り当てることができます。

初期設定では、ファンクションボタンに以下の機能が設定されています。

ボタン	機能
「フィルム・エフェクト」設定ダイヤル	自動拡大
MENU/OKボタン	消去
BACKボタン	情報画面切換

以下の説明はカメラ初期設定に基づいています。

### メモ

- 表示モードに関わらず（拡大/縮小表示等）、割り当てられた消去メニューを呼び出すことができます。

## 画像を再生する/再生を終了する

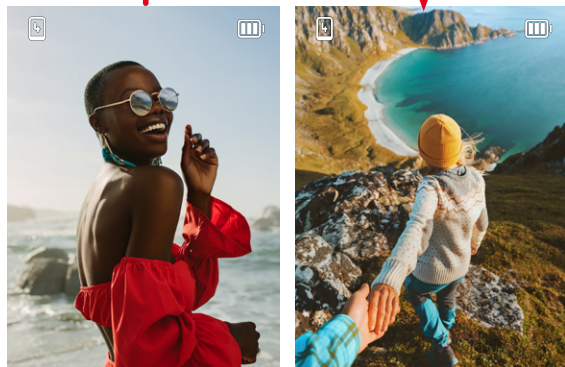


- ▶ **PLAY**ボタンを押す。
  - 最後に撮影した画像が表示されます。
  - 挿入したメモリーカードに画像が記録されていない場合、以下のメッセージが表示されます：**再生可能な画像がありません。**
  - 現在の表示画面によって、いくつかの機能を**PLAY**ボタンで操作することができます。

押す前の表示	PLAYボタンを押した後の表示
画像の全面表示	撮影モード
拡大表示/一覧表示による再生	画像の全面表示

## 画像を選択する/スクロールする

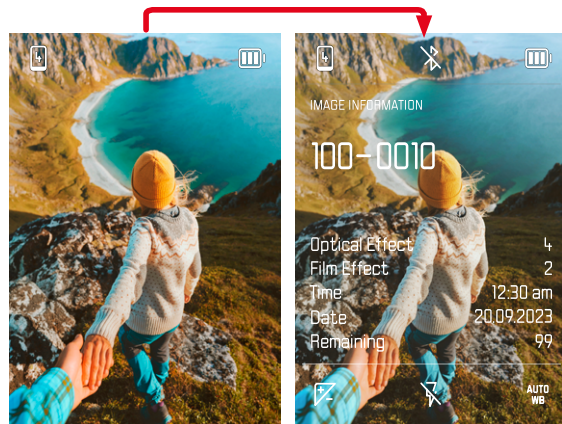
画像はすべて横向きに、撮影順（時間別）に並べられ、表示されます。画像を再生する際、次の画像/前の画像どちらの方向にも移動でき、最後の画像の後には1枚目の画像へ移動します。また、1枚目の画像から最後の画像へ移動することもできます。



- ▶ セレクターボタンの上または下を押す。

## 再生モード時の情報表示

画像確認の邪魔にならないように、初期設定では再生時に情報が表示されないよう設定されています。



- ▶ BACKボタンを押す。
  - 情報が表示されます。



## 拡大倍率

画像の細部を確認するため、画像の一部を拡大再生することができます。  
「フィルム・エフェクト」設定ダイヤルで8段階で拡大することができます。



- ▶ セレクターボタンで拡大表示位置を移動させることができます。

### メモ

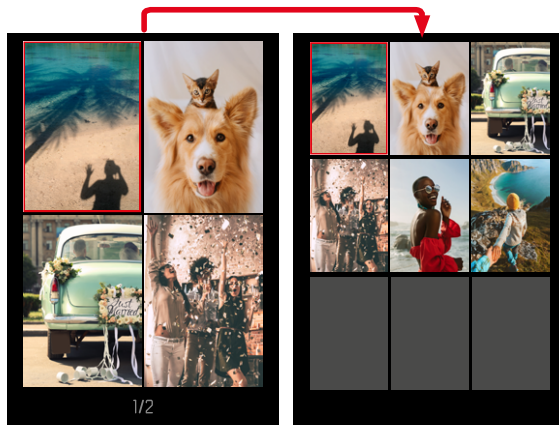
- 他機で撮影された画像は拡大表示できない場合があります。

## 一覧表示

画像を縮小して一覧表示することで、撮影した画像を全体的に確認、または探している画像をすばやく見つけ出すことができます。4枚表示または9枚表示ができます。

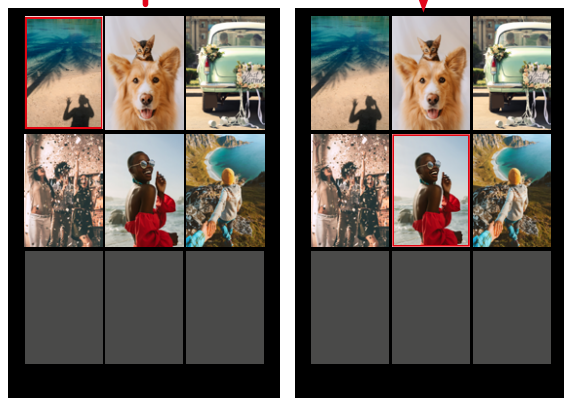
### 一覧表示

- ▶ 「フィルム・エフェクト」設定ダイヤルを左に回す。
  - 4枚表示に切り替わります。さらに左に回すと、9枚表示に切り換わります。



移動中も選択中の画像は赤枠で示されます。

画像を選択するには



- ▶ セレクターボタンで希望する方向に移動させる。

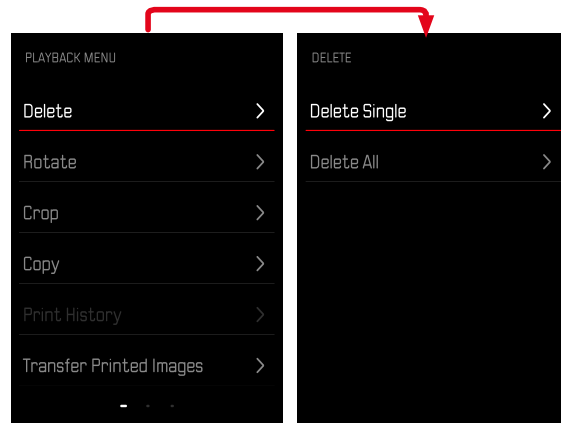
通常倍率に戻るには

- ▶ **BACK**ボタンを押す。  
または
- ▶ **PLAY**ボタンを押す。

## 画像を削除する

画像を削除するにはいくつかの方法があります：

- 1コマずつ削除する
- すべての画像を削除する

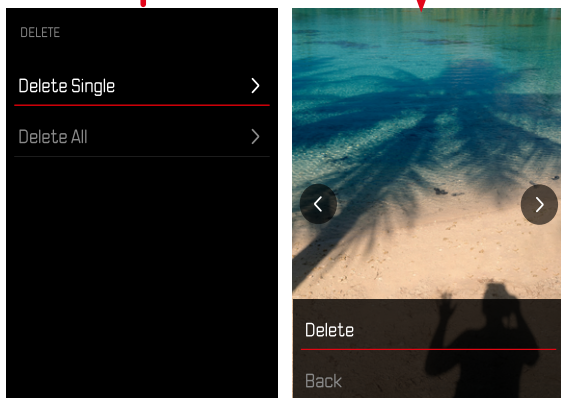


### 注意

- ・ 一度削除した画像は元に戻せません。

## 1コマずつ削除する

- ▶ **PLAY**ボタンを押す。
- ▶ **MENU/OK**ボタンを押す。
- ▶ セレクターボタンの右を押す。
- ▶ **1コマ消去**を選択する。
- ▶ セレクターボタンの右を押す。
  - ・ 削除画面が表示されます。



- ▶ **消去**を選択する。

## 消去するには

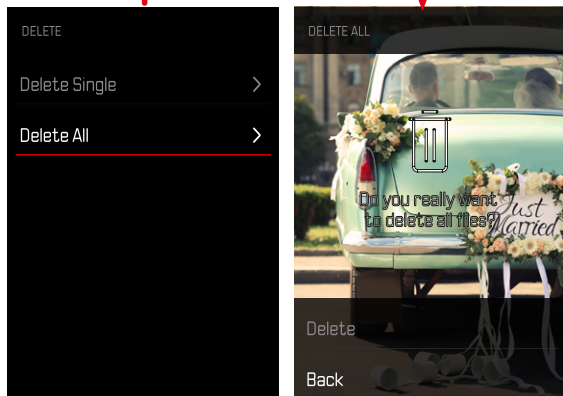
- ▶ **MENU/OK**ボタンを押す。
  - ・ 削除確認メッセージは表示されません。データは即削除されます。
  - ・ 削除後は次の画像がモニターに表示されます。表示できる画像がない場合は、**再生可能な画像がありません。**というメッセージが表示されます。

## 削除を中止して再生モードに戻るには

- ▶ **いいえ**を選択する。

## すべての画像を削除する

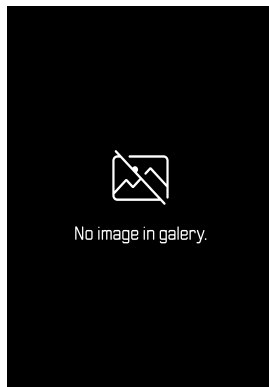
- ▶ **PLAY**ボタンを押す。
- ▶ **MENU/OK**ボタンを押す。
- ▶ 再生メニューで**全コマ消去**を選択する。
  - ・ **画像を全て消去しますか?**という確認メッセージが表示されます。



- ▶ **消去**を選択する。
  - ・ 削除確認メッセージは表示されません。データは即削除されます。

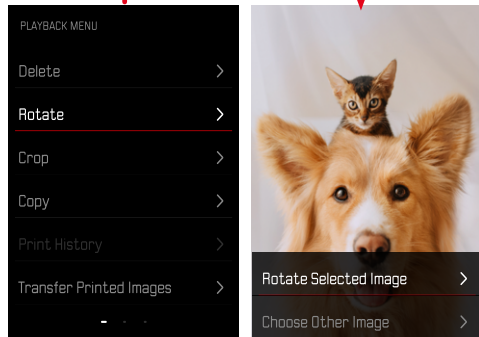
## メモ

- ・ 削除が完了すると、「再生可能な画像がありません」というメッセージが表示されます。画像が削除できなかった場合、再生していた撮影画像が再度表示されます。複数またはすべての画像を消去する際、枚数によっては時間がかかることがあります。その場合、削除中にメッセージが表示されます。

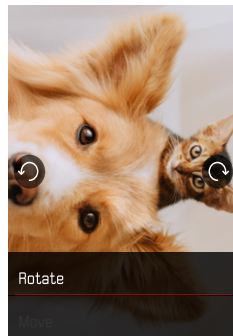


## 画像を回転する

- ▶ **PLAY**ボタンを押す。
- ▶ **MENU/OK**ボタンを押す。
- ▶ 再生メニューで**回転**を選択する。
- ▶ この画像を回転するまたは他の画像を選択するを選択する。

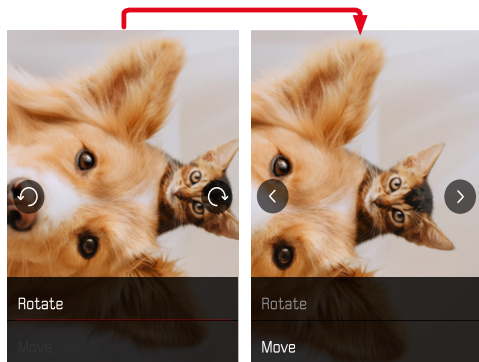


- ▶ **回転**を選択する。
- ▶ セレクターボタンで希望する方向に移動させる。



## 画像表示範囲を移動する

- ▶ **PLAY**ボタンを押す。
- ▶ **MENU/OK**ボタンを押す。
- ▶ 再生メニューで**回転**を選択する。
- ▶ この画像を回転するまたは他の画像を選択する。



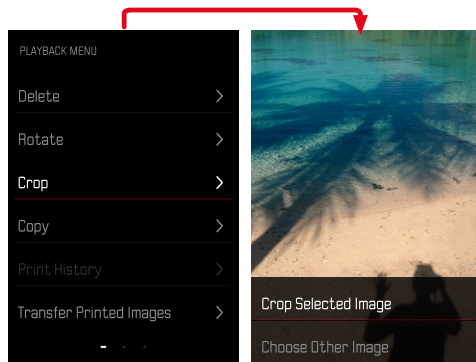
- ▶ **移動**を選択する。
- ▶ セレクターボタンで希望する方向に移動させる。

再生メニューを終了するには

- ▶ **BACK**ボタンまたは**PLAY**ボタンを押す。

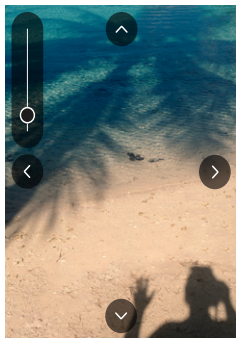
## 画像表示範囲をクロップする

- ▶ **PLAY**ボタンを押す。
- ▶ **MENU/OK**ボタンを押す。
- ▶ 再生メニューで**クロップ**を選択する。
- ▶ この画像を回転するまたは他の画像を選択する。



表示範囲を拡大するには

- ▶ 「フィルム・エフェクト」設定ダイヤルを左に回す。



表示範囲を移動するには

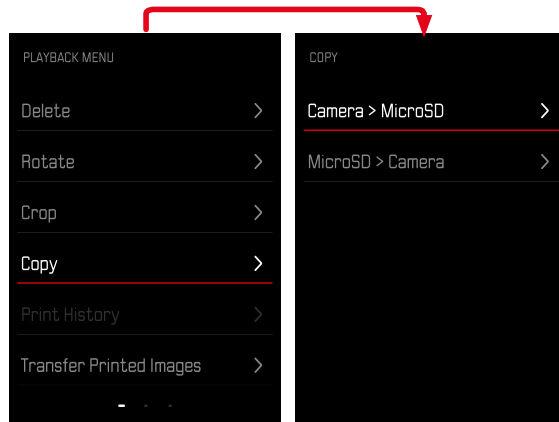
- ▶ セレクターボタンで希望する方向に移動させる。

希望する表示範囲を保存するには

- ▶ MENU/OKボタンを押す。

## 画像をコピーする

- ▶ PLAYボタンを押す。
- ▶ MENU/OKボタンを押す。
- ▶ 再生メニューでコピーを選択する。
- ▶ 希望するメニュー項目を選択する。



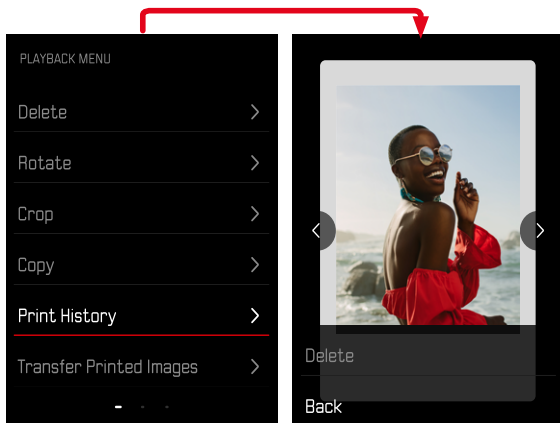
- ▶ 1コマずつコピーするまたは全コマコピーを選択する。
- ▶ コピーを選択する。

## プリント履歴を消去する

- ▶ **PLAY**ボタンを押す。
- ▶ **MENU/OK**ボタンを押す。
- ▶ 再生メニューで**プリント履歴**を選択する。
- ▶ **消去**を選択する。

画像を選択するには

- ▶ セレクターボタンの右または左を押す。



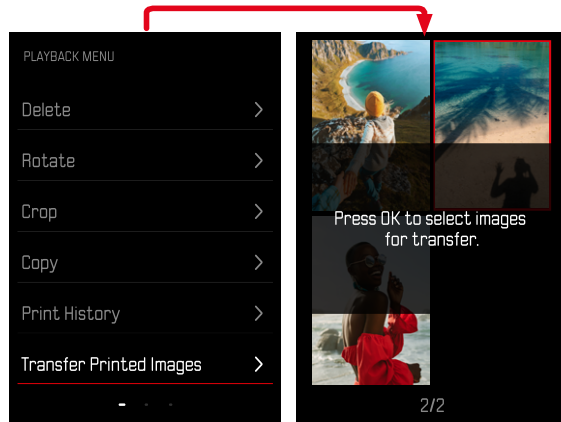
削除を中止して再生モードに戻るには

- ▶ **いいえ**を選択する。
- または
- ▶ **PLAY**ボタンを押す。

## プリント履歴を転送する

プリントした画像をアプリLeica FOTOS経由でモバイル端末に転送することができます。お使いのモバイル端末に「Leica FOTOS」をインストールする必要があります。詳しくは、「Leica FOTOS」をご参照ください。

- ▶ **PLAY**ボタンを押す。
- ▶ **MENU/OK**ボタンを押す。
- ▶ 再生メニューで**プリント済み画像を転送する**を選択する。
  - プリント済み画像の一覧が表示されます。







画像を選択するには

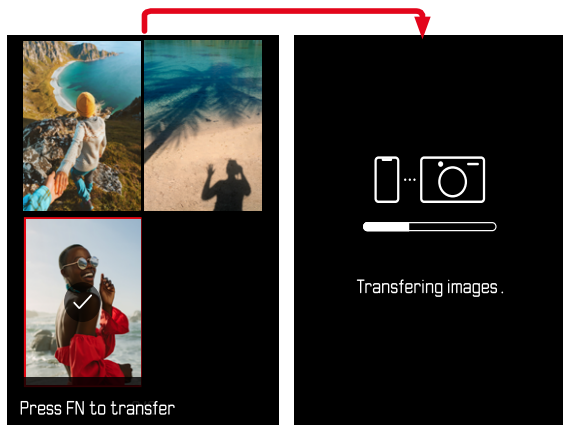
- ▶ MENU/OKボタンを押す。

他の画像を選択するには

- ▶ セレクターボタンで希望する方向に移動させる。

転送を開始するには

- ▶ FNボタンを押す。
  - ・ メッセージが表示されます。





## その他の機能

本項目に記載されている設定/内容は、静止画撮影モード、動画撮影モードともに有効です。「基本的な操作・設定」内の「メニュー操作」に関する項目も合わせてご参照ください。静止画モード、または動画モードのいずれかで設定された内容は、もう一方のモードにも適用されます。

### 初期設定に戻す(すべての設定をリセットする)

メニュー項目の設定をすべてリセットして、基本設定(初期状態)に戻すことができます。ユーザープロフィール、ワイヤレスLAN設定、Bluetooth設定、画像番号に関しては、リセットする対象項目から除外することができます。

- ▶ 撮影メニューで「リセット」を選択する。
  - 「初期設定に戻しますか?」という、確認メッセージが表示されます。
- ▶ 設定をリセットする場合は「はい」、しない場合は「いいえ」を選択する。
  - 「いいえ」を選択すると、設定はリセットされずに撮影メニューに戻ります。
- ▶ カメラの電源を入れなおす。

## ファームウェア アップデート

ライカは、製品の機能の向上や不具合の改善に継続的に取り組んでいます。デジタルカメラでは多くの機能がファームウェアで制御されており、お買い上げの後でも機能を追加したり不具合を改善したりすることが可能です。本製品をユーザー登録された方には、最新ファームウェアのリリース情報を随時お届けいたします。

最新のファームウェアをダウンロードして、本製品をアップデートしてください。また、アプリ「Leica FOTOS」のユーザーは、ファームウェアのアップデート情報をアプリ内で自動的に受け取ることができます。

ファームウェアのアップデートは以下の方法で行うことができます。

- 楽にアプリ「Leica FOTOS」から (p.66)
- カメラメニューから

現在インストールされているファームウェアのバージョンを確認するには

- ▶ 撮影メニューで「ファームウェア アップデート」を選択する。
  - ・ サブメニューに現在のファームウェアバージョンが表示されます。



ファームウェアのアップデート情報、アップデートに伴う改善内容や追加機能、およびカスタマー登録について詳しくは、以下のサイトからご覧ください。

<https://club.leica-camera.com>

## ファームウェアをアップデートする

ファームウェア アップデートを中断すると、カメラに重大かつ修復不可能な損傷を与える可能性があります。

ファームウェアのアップデート中には以下の事項を順守してください。

- カメラの電源を切らない。
- メモリーカードを取り出さない。
- バッテリーを取り出さない。

### メモ

- バッテリー残量が十分でない場合は、警告メッセージがモニターに表示されます。バッテリーを充電してからファームウェアをアップデートしてください。

## 使用前の準備

- ▶ バッテリーを満充電し、カメラに入れる。
- ▶ メモリーカードに他のファームウェアが保存されている場合は、必要のないものを消去する。
  - メモリカードに保存されているすべての画像をバックアップしてから、カメラでフォーマットすることをお勧めします。  
(注意: データ消失! フォーマットするとすべてのデータが削除されます。元に戻すことはできませんのでお気をつけください。)
- ▶ 最新のファームウェアをダウンロードする。
- ▶ メモリーカードに保存する。
  - ファームウェアファイルは必ずメモリーカード最上位階層に保存してください。下位階層では読み込みができません。
- ▶ メモリーカードをカメラに挿入する。
- ▶ カメラの電源を入れる。



## カメラのファームウェアをアップデートする

- ▶ 準備する。
- ▶ 撮影メニューで**ファームウェア アップデート**を選択する。
- ▶ **はい**を選択する。
  - ・ アップデートに関する情報とメッセージが表示されます。
  - ・ アップデートが自動的に開始します。
  - ・ 処理中はLEDランプが点滅します。
  - ・ 正常に完了すると、再起動を促すメッセージが表示されます。
- ▶ カメラの電源を入れなおす。

### メモ

- ・ 再起動後には、日付、時刻、言語を再設定する必要があります。確認メッセージが表示されます。
- ・ Leica FOTOSからアップデートする場合は自動で設定されます。

スマートフォンやタブレットを使って、カメラをリモートコントロールすることができます。お使いのモバイル端末に「Leica FOTOS」をインストールする必要があります。さらに、「Leica FOTOS」で、以下の便利な機能も使用できます。

- 写真に位置情報（ジオタグ）を付ける
- データを転送する
- ファームウェアのアップデートをインストールする
- 集合写真用などにリモートコントロールでリードタイムを選択できるセルフタイマー機能

その際に使用できる機能や操作方法に関して詳しくは、Leica FOTOSで確認できます。本書の「法律に関する事項（5ページ）」もお読みください。

- ▶ 以下のQRコードをモバイル端末でスキャンする。



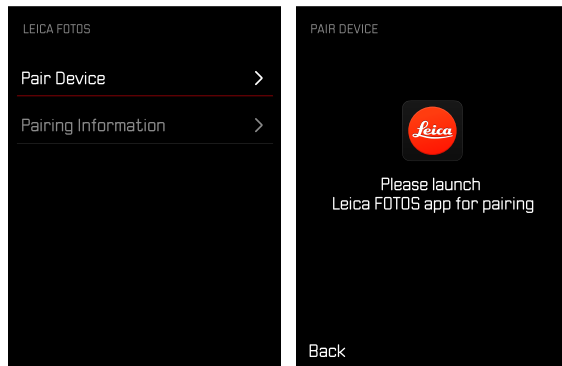
または

- ▶ Apple App Store™/Google Play Store™でアプリをダウンロードしてください。

## 接続

### 新しい端末に接続する

初めて接続する場合は、カメラとモバイル端末をペアリングする必要があります。





## カメラ上で操作する

- ▶ 撮影メニューで「Leica FOTOS」を選択する。
- ▶ 「デバイスを追加する」を選択する。
- ▶ モニターにQRコードが表示されるまで待つ。

## モバイル端末上で操作する

- ▶ Leica FOTOSを起動する。
- ▶ 「カメラを追加する」を選択する。
- ▶ 機種を選択する。
- ▶ 「QRコードをスキャンする」を選択する。
- ▶ QRコードをスキャンする。
  - ・ ペアリングが行われます。処理には数秒程度かかることがあります。
  - ・ 接続後LEDランプが点灯し、スクリーンにメッセージが表示されます。

## メモ

- ・ ペアリングのプロセスには時間がかかることがあります。
- ・ ペアリングは初回のみ必要で、毎回行う必要はありません。登録リストに端末が追加されていきます。

## ペアリングをスキップする

- ▶ **BACK**ボタンを押す。

## 登録済み端末に接続する

### BLUETOOTH経由

#### カメラ上で操作する

- ▶ 撮影メニューで「Leica FOTOS」を選択する。
- ▶ 「デバイスを追加する」を選択する。
  - ・ カメラが自動的にモバイル端末に接続されます。

#### モバイル端末上で操作する

- ▶ Leica FOTOSを起動する。
- ▶ 機種を選択する。
- ▶ 表示される確認メッセージを確認し、確定する。
  - ・ カメラが自動的にモバイル端末に接続されます。

## ファームウェアをアップデートする

ファームウェア アップデートを中断すると、カメラに重大かつ修復不可能な損傷を与える可能性があります。

ファームウェアのアップデート中には以下の事項を順守してください。

- カメラの電源を切らない。
- メモリーカードを取り出さない。
- バッテリーを取り出さない。
- レンズを取り外さない。

アプリ「Leica FOTOS」のホーム画面にてカメラのファームウェア・アップデート情報を受け取ることができます。

- ▶ アプリ「Leica FOTOS」の指示に従う。

### メモ

- バッテリー残量が十分でない場合は、警告メッセージがモニターに表示されます。バッテリーを充電してからファームウェアをアップデートしてください。
- アップデートはカメラメニューからもできます (p.63)。





## お手入れ/保管

本製品を長期間使用しない場合は、次のことをおすすめします：

- カメラの電源を切ってください。
- メモリーカードを取り出す。
- バッテリーを取り出す（約2か月ほどで日付と時刻の設定が失われます）。

### 本体

- ・ 汚れはカビや細菌などの繁殖の原因となりますので、本製品を清潔に保ってください。
- ・ 本製品をお手入れする際は、乾いた柔らかい布をお使いください。ひどい汚れは、よく薄めたクリーナーなどを浸み込ませた布で拭いてから、乾いた布で拭き取ってください。
- ・ 海水がかかった場合は、柔らかい布を水道水で湿らせ、よく絞ってからカメラ本体を拭いてください。その後、乾いた布でよく拭いてください。
- ・ 指紋などの汚れは、柔らかい清潔な布で拭き取ってください。布で拭き取りにくい隅の部分がひどく汚れている場合は、小さなブラシで取り除いてください。その際絶対にシャッターブレードに触れないでください。
- ・ 破損やほこりから保護するために、クッション入りのケースに保管することをおすすめします。
- ・ カメラは、高温多湿を避け、乾燥した十分に換気された場所に保管してください。湿気の多い場所で使用した場合は、湿気をよく取り除いてから保管してください。
- ・ カビの発生を防ぐため、革製のケースにカメラを長期間入れて保管しないでください。
- ・ 収納しているケースが湿気を吸収した場合は、湿気そのものや湿気によって染み出るなめし剤によって、本製品が故障するのを防ぐために、本製品をケースに収納しないでください。
- ・ 機械的に動作するベアリングやスライド部には潤滑油を使用しています。長期間使用しない場合は、スムーズな動作を保つため、約3か月ごとに数回シャッターを切って動かしてください。また、その他の操作部もすべて定期的に動かすことをおすすめします。

- ・ 高温・多湿の熱帯地域で使用するときは、カビが発生するのを防ぐために、できるだけ多く日光や風に当ててください。密封ケースなどに保管するときは、シリカゲルなどの乾燥剤を入れてください。また、レザー製のケースに長期間収納したままにしないでください。

### レンズ

- ・ レンズ表面についたホコリはまずブローアードで吹き飛ばし、それでも落ちない場合は柔らかいブラシを使って落としてください。汚れがひどい場合や指紋を取り除くには、クリーナーなど何も付けない柔らかい清潔な布を使って、レンズの中央から外側に向かって円を描くようにして丁寧に拭き取ってください。使用する布には、ケースなどの保護容器に入っているマイクロファイバークロスをおすすめします（写真用品や光学機器の専門店で購入できます）。40°Cの温水で手洗いでできるような布をおすすめします（ただし、柔軟剤の使用やアイロンがけは避けてください）。メガネ用クリーニング・ティッシュ等の化学成分を含んだ紙や布は、レンズ表面やコーティング層を傷める原因となりますので絶対に使用しないでください。
- ・ 砂や海水がかかるおそれのある場所で撮影する場合は、透明のUVaフィルターを装着するとフロントレンズを保護できます。ただし、その他のフィルターと同様に、逆光での撮影やコントラストが高い被写体の撮影ではフレアが発生することがありますのでお気をつけください。
- ・ レンズキャップを装着すると、不用意に指紋がついたり雨でぬれたりすることを防げます。
- ・ 機械的に動作するベアリングやスライド部には潤滑油を使用しています。長期間使用しない場合は、動作が鈍くならないよう、フォーカスリングと絞りリングを定期的に動かしてください。

### モニター

- ・ 露付きが起こった場合、電源を切り、常温の場所に約1時間置いてください。周囲の温度になじむと、曇りが自然に取れます。

## バッテリー

- バッテリーを取り出して保管する場合は、容量がある程度残った状態で保管してください。バッテリー残量はモニターで確認できます。長期間保管する場合は、過放電を避けるために、半年に1回、15分ほど充電してください。

## メモリーカード

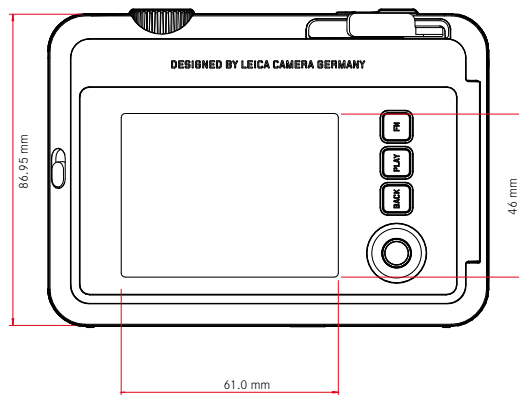
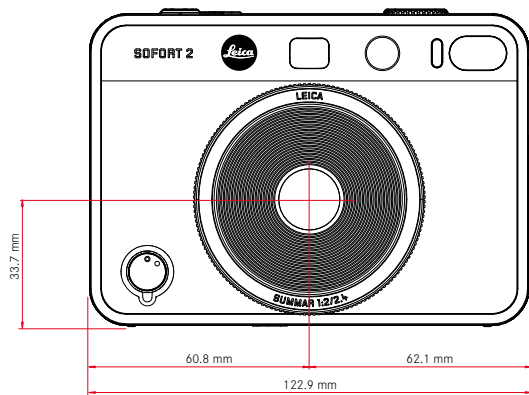
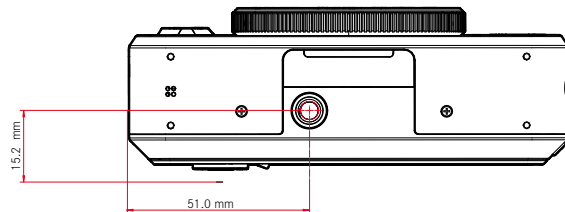
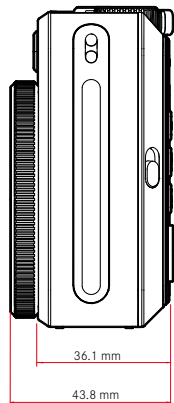
- メモリーカードを保管するときは、記録データを保護するために、帯電防止ケースに入れてください。
- 高温の場所、直射日光の当たる場所、磁気や静電気が発生する場所で保管しないでください。カメラを長期間使用しない場合は、カメラからメモリーカードを取り出してください。
- データ削除を繰り返すと断片化が生じて空き容量が少なくなります。それにより書き込み時間が長くなることで記録エラーが起きる場合がありますので、定期的にフォーマットすることをおすすめします。

問題	原因	対処方法
<b>電池</b>		
充電がすぐになくなる。	バッテリーが冷たすぎる。	バッテリーを体温などであたため、撮影の直前にカメラに挿入してください。
	バッテリーが熱すぎる。	バッテリーを冷ましてからカメラに挿入してください。
	モニターやEVFが明るすぎる。	輝度を下げてください。
	常にワイヤレスLANに接続されている。	必要のないときはワイヤレスLANの接続を解除してください。
	バッテリーの限界充電回数を超えている。	バッテリーの寿命です。新しいバッテリーに交換してください。
<b>カメラ</b>		
カメラの電源が突然切れる。	バッテリー残量がない。	バッテリーを充電する
カメラの電源が入らない。	バッテリー残量がない。	バッテリーを充電する
	バッテリーが冷たすぎる。	バッテリーを温めてください
電源を入れてもすぐに切れてしまう。	バッテリー残量がない。	バッテリーを充電する
カメラがメモリーカードを読み込まない。	互換性がない、または故障しているメモリーカードが挿入されている。	新たなメモリーカードを使用してください。
	メモリーカードが正しくフォーマットされていない。	カメラ内でメモリーカードをフォーマットしてください。 (注意：すべてのデータが消去されるのでお気を付けてください。)
<b>メニュー、表示</b>		
表示が日本語でない。	-	メインメニューで「 <b>language</b> 」を選択し、「 <b>日本語</b> 」に設定してください。
	視野角が狭い。	モニターをできるだけ正面から見てください。
撮影後、撮影可能枚数が減らない。	画像データが小さいため、メモリーカードの容量をとらない。	故障ではありません。撮影可能枚数はおよその数です。
<b>撮影モード</b>		
シャッターボタンを半押しすると、モニター/ファインダーにノイズが発生する。	撮影環境の明るさが十分でない、または絞りを絞り込んで撮影する場合、ISO値が自動で高く設定される(オートISO設定時)。	故障ではありません。撮影が続行されます。

モニター/ファインダーがすぐにオフになる。	省エネモードがオンになっている。	省エネモードの設定を変更してください。
撮影後にモニターの表示が消える/モニターが暗くなる。	フラッシュ撮影後、次の撮影に向けての発光準備中は、モニターがオフになる。	フラッシュの発光準備が完了するのを待ってください。
フラッシュが発光しない。	現在の設定でフラッシュが使用できない。	フラッシュユニット使用時に設定できる各種機能をご確認ください。
	バッテリー残量がない。	バッテリーを充電する、または交換してください。
	フラッシュ発光準備中にシャッターボタンを押す。	フラッシュの発光準備が完了するのを待ってください。
	エフェクトが使用されている	各種設定を調整してください。
フラッシュが被写体に正しく照射されない。	被写体がフラッシュ光の到達範囲内でない。	フラッシュ光の届く範囲内に被写体を置いてください。
	フラッシュ発光部位が遮られている。	発光部位が手やレンズでおおわれていないか確認してください。
シャッターが切れない/シャッターボタンが作動しない/撮影できない。	メモリーカードがいっぱい。	空き容量のあるメモリーカードに交換してください。
	メモリーカードがフォーマットされていない。	メモリーカードをフォーマットしてください。 ただし、すべてのデータが消去されるのでお気をつけください。
	メモリーカードがロック（書き込み防止）されている。	メモリーカードのロックを解除してください。（カード側面にスイッチがあります。）
	メモリーカードの端子部が汚れている。	端子部を綿やリネンの布で丁寧に拭いてください。
	メモリーカードが故障している。	空き容量のあるメモリーカードに交換してください。
	カメラの電源が自動的に切れる（オートパワーオフ）。	カメラの電源を再度入れ、オートパワーオフをオフにしてください。
	画像データをメモリーカードに記録中で、バッファメモリーがいっぱい。	撮影準備が終了するまでお待ちください。
	バッテリー残量がない。	バッテリーを充電する、または交換してください。
顔が認識されない。	撮影準備中	撮影準備が終了するまでお待ちください。
	サングラス、帽子、髪の毛などで顔や顔のパーツが隠れている。	顔がはっきり見えるようにしてください。
	画面の中で顔の占める部分が小さすぎる。	構図を変更してください。
	顔が傾いている、または正面を向いていない。	顔をまっすぐカメラのほうに向けてください。
	カメラが傾いている。	カメラをまっすぐにして撮影してください。
	撮影に十分な光が顔に当たっていない。	フラッシュを使用し、十分な光量で撮影してください。
	顔が主要被写体として認識されている。	顔認識機能をオフにしてください。

モニター画像にノイズが発生する。	暗い場所でのモニターの輝度調整機能による。	故障ではありません。撮影が続行されます。
画像の保存に時間がかかる。	ノイズリダクション処理中(夜間の長時間露光撮影後など)	機能をオフにしてください。
	処理速度の遅いメモリーカードを使用している。	適したメモリーカードを使用してください。
<b>再生モード/画像の管理</b>		
時刻/日付設定が間違っているか、設定されていない。	バッテリーを取り出したまま、カメラを長期間使用していない。	充電したバッテリーを挿入し、設定を行ってください。
画像上に表示された日付/時刻が間違っている。	日付/時刻が正しく設定されていない。	日付/時刻を正しく設定してください。 放電してしまったバッテリーを挿入したままカメラを長期間使用しないと、日付と時刻の設定が失われます。
画像上に日付/時刻を表示したくない。	設定が正しくされていない。	あとから削除することはできません。 機能をオフにしてください。
画像が破損している、または保存されていない。	メモリーカードへの画像の書き込み中(LED点滅中)にメモリーカードが取り出された。	メモリーカードへの画像の書き込み中(LED点滅中)は、メモリーカードを取り出さないでください。バッテリーを充電してください。
	メモリーカードが正しくフォーマットされていない、または破損している。	メモリーカードをフォーマットしてください。 (注意:すべてのデータが消去されるのでお気をつけてください。)
<b>静止画画質</b>		
画像が明るすぎる。	撮影時に露出センサーが遮られていた。	センサーがおおわれていないことを確認してから撮影してください。
画像の色が不自然。	ホワイトバランスが設定されていない、または光源に合っていない。	光源に合わせたホワイトバランスをプリセットから設定する、またはマニュアルで設定してください。
画像上に白い斑点が写っている。	暗い場所でフラッシュ撮影を行った場合:ほこりなどの大気中の粒子にフラッシュ光が反射した。	フラッシュを使用せずに撮影してください。
ピントが合っていない。	レンズが汚れている。	レンズをクリーニングしてください。
	レンズの前に障害物などがある。	障害物をどけて撮影をしてください。
	撮影中にカメラが動いた。	フラッシュを使用してください。 カメラを三脚に固定して撮影してください。
露出オーバー	明るい撮影環境下でフラッシュがオンになっている。	フラッシュモードを変更する、またはオフにしてください。
	画像内に明るい光源が写っている。	明るい光源が写りこまないように撮影して下さい。
	逆光での撮影	レンズフードを使用するか、構図を変えてください。

画像がブレている。	暗い撮影環境下でフラッシュを使用していない。	三脚にカメラを固定し、フラッシュを使用して撮影してください。
横縞のノイズが発生する。	光源が蛍光灯やLEDランプの際の、電子シャッターを使用した撮影。	シャッタースピードを速く設定してください。
明るすぎる、または色が不自然。	明るすぎる環境下や、人工光源下での撮影。	適切なホワイトバランスをプリセットから選択するか、マニュアルで設定してください。
画像が表示されない。	メモリーカードが挿入されていない。	メモリーカードを入れてください。
	違うカメラで撮影された画像。	パソコンなど他のデバイスに移して再生してください。
画像が表示されない。	パソコン上で画像のファイル名が変更された。	パソコンへのデータ転送に適したソフトウェアを使用してください。
<b>スマートフォン/ワイヤレスLAN</b>		
ワイヤレスLAN接続が中断された。	カメラがオーバーヒートした。	カメラが常温に戻るのをお待ちください。
接続したいモバイル端末とペアリングできない。	他のカメラとペアリングされた。	モバイル端末上のBluetooth設定に登録されているカメラのリストから削除し、ペアリングしなおしてください。
モバイル端末と接続できない/画像を転送できない。	モバイル端末からカメラまでの距離が遠すぎる。	モバイル端末とカメラを近づけてください。
	磁気、静電気、電波障害が発生する機器が近くにある。	障害を起こす可能性のある電子機器の近くで使用しないでください。
	近くに他のモバイル端末がある。	接続しなおす、またはペアリングしないモバイル端末を遠ざけてください。
	モバイル端末が他の機器と接続されている。	接続状況を確認してください。
ワイヤレスLAN設定画面に、接続したいカメラ名が表示されない。	モバイル端末がカメラを検出していない。	モバイル端末のワイヤレスLANを接続しなおしてください。
<b>プリント</b>		
画像がプリントされない	画像が選択されていない	プリントする画像を選択してください
	フィルムが入っていない	新しいフィルムをを入れてください
	フィルム残量がない	
プリント画像のカラーが薄い	プリントモードで <b>ナチュラル</b> が選択されている	プリントモード <b>リッチ</b> を選択してください
プリント中にエラーメッセージが表示される	フィルムのフィルムカバーが正しく排出されていない	フィルムを取り出し、フィルムカバーをまっすぐに整えてください。決してフィルムカバーを取り出さないでください。





## カメラ

### 名称

ライカ Sofort 2

### 形式

ハイブリッドインスタントカメラ（プリント機能付き）

### 型番

8262

### 商品コード

ホホワイト：19188、レッド：19189、ブラック：19190

### 記録媒体

内蔵メモリー（約45枚）、microSDカード/microSDHCカード（1 GBのmicroSDカードを使用時：約850枚）

### 材質

プラスチック製（本体：ポリカーボネート、フロントパネルとリアパネル：ポリメチルメタクリレート）

### 動作環境

+5° C～+40° C

### インターフェース

USB 3.1 Gen1 Type-C

### 三脚用ねじ穴

A 1/4（1/4インチ、DIN4503に準拠）、本体底面

### 質量

約320g（レンズキャップ含む、フィルムなし）

### 撮像素子

#### センサーサイズ

CMOSイメージセンサー、1/5インチ

#### フィルター

RGBカラーフィルター

### 記録形式

JPG（DCF 2.0, Exif 2.31）

### 解像度（静止画）

2560x1920画素（490万画素）

### ファイルサイズ

約1.2MB

### 色空間

静止画：sRGB

### レンズ

#### 名称

Leica Summar 2.4 f/2（35mm判換算焦点距離約28mm相当）

#### 絞り値

f2～f16（オート露出制御）

### バリエーション機能

ノーマル、ビネット、ソフトフォーカス、ぼかし、魚眼、色ずれ、光漏れ、ミラー、二重露光、ハーフフレーム

### プリント

#### プリントバリエーション

内蔵メモリーもしくはメモリーカード内の画像がプリント可能プリントした50枚が保存され、何度でも再プリントが可能アプリLeica FOTOS経由でモバイル端末からカメラに画像を転送してプリントが可能

#### プリント解像度

1600x600画素（アプリLeica FOTOSから画像をプリントした場合：800x600画素）

### 対応フィルム

ライカインスタントカメラ用フィルム：

Sofort color film pack (mini), Warm White：19677

Sofort color film pack (mini) Neo Gold：19678

Sofort color film duo pack (mini), Warm White：19679

### フィルムエフェクト

ノーマル、ビビッドトーン、ベールトーン、キャンバス、モノクローム、セピア、イエロー、レッド、ブルー、レトロ



### プリント時間

約16秒

### 現像時間

約90秒

### フィルムサイズ

86x54mm

### 画面サイズ

62x46mm

### モニター

3.0型 TFT 液晶モニター、画素数：460,000ドット

### シャッター

#### シャッタースピード

1/4~1/8000s (オート露出制御)

測距

### ピント合わせ

#### 合焦範囲

10cm~∞

#### フォーカスモード

AFs

### 露出

#### 測光

TTL 256分割測光、マルチ測光

#### 露出モード

プログラムAE

#### 露出補正

±2EV (1/3EVステップ)

#### ISO感度

ISO100~1600 (オート露出制御)

### ホワイトバランス

オート (オート)、プリセット (晴天、くもり、白熱灯、蛍光灯1、蛍光灯2、蛍光灯3)

### フラッシュ

#### 到達距離

有効到達距離：約0.5m~1.5m

#### フラッシュ制御

自動制御フラッシュ (オート) / フラッシュ常時オン (オン) / フラッシュ無効 (オフ)

### その他

#### Bluetooth

Bluetooth 4.2 LE：2402~2480MHz、最大出力 (e.i.r.p.)：7.79dBm

#### 表示言語

英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語、日本語、繁体中国語、簡体中国語、韓国語

### 電源

#### バッテリー (内蔵型)

充電式リチウムイオンバッテリー (内蔵型：取り外し不可)、中国製：3.7V、740mAh、2.6W

約300枚 (バッテリーフル充電時)

充電時間：2~3時間 (電源オフ時)：5V/500mA (2.5W~5W)

#### USB電源

カメラの電源がオフの場合、またはスタンバイモード時：USB充電

カメラの電源がオンの場合：USB給電と間欠充電

#### 付属品

USBケーブル、キャリングストラップ、クイックスタートガイド、レンズキャップ





## ライカ カスタマーケア

お手持ちの製品のメンテナンスや修理が必要な場合は、下記のカスタマーケア、またはお近くのライカ正規販売店までご相談ください。

### ライカカメラジャパン株式会社

カスタマーケア

東京都中央区銀座6-4-1 ライカ銀座店内

**Tel.:** 0570-055-844

**Fax:** 03-6215-7073

**E-mail:** [info@leica-camera.co.jp](mailto:info@leica-camera.co.jp)

### ライカカメラ本社 (ドイツ)

Leica Camera AG

Leica Customer Care

Am Leitz-Park 5

35578 Wetzlar

ドイツ

**Telefon:** +49 6441 2080-189

**Fax:** +49 6441 2080-339

**E-mail:** [customer.care@leica-camera.com](mailto:customer.care@leica-camera.com)

<https://leica-camera.com>

### 各国のカスタマーサポートセンター

お客様のお住まいの地域を担当するカスタマーケアについては、以下のホームページでご確認いただけます。

<https://leica-camera.com/ja-JP/contact>

## ライカ アカデミー

ライカアカデミーでは写真撮影に役立つ各種セミナーやワークショップを開催しています。詳しくは、以下のホームページをご覧ください。

<https://leica-camera.com/ja-JP/raikaakatemi>